

証券コード:5401



新日鐵住金

NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL

2017年度 1Q決算説明会

常務執行役員

宮本 勝弘

2017年7月28日

特に断りのない限り、本資料中の財務数値は連結数値

1. 2017年度1Q決算・上期見通し

2. 2017年度見通し

3. 中期経営計画の進捗状況

4. 参考データ

1. 2017年度1Q決算・上期見通し

2017年度1Q決算・上期見通しの概況

事業環境

- **国内鉄鋼需要** : 自動車向けを中心に製造業は造船を除き堅調。人手不足問題はあるものの、今後オリンピック需要含め建設・土木向け需要の本格化が期待される。
- **海外鉄鋼需要** : 中国経済の回復傾向に一服感が見受けられるが、米国・欧州含め経済の緩やかな回復が見込まれ、鉄鋼需要も総じて堅調。鋼材市況は、期首に在庫調整に起因した一時的な軟化の動きが見られたが、既に底打ちし持ち直し。

トピックス

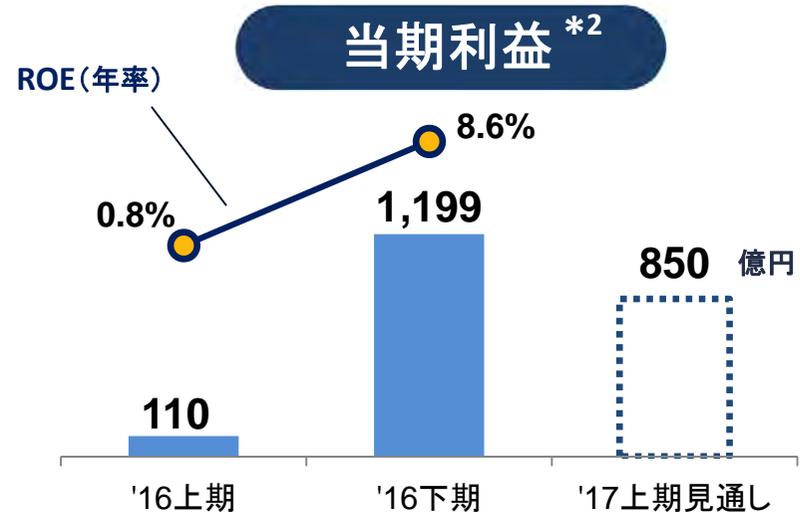
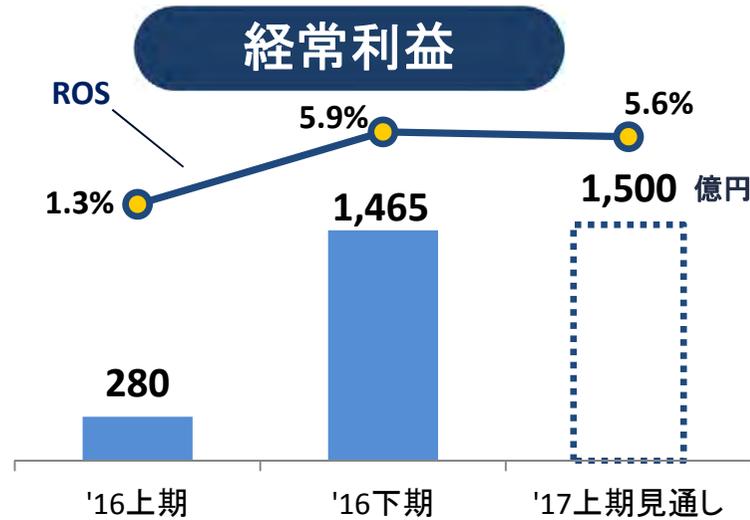
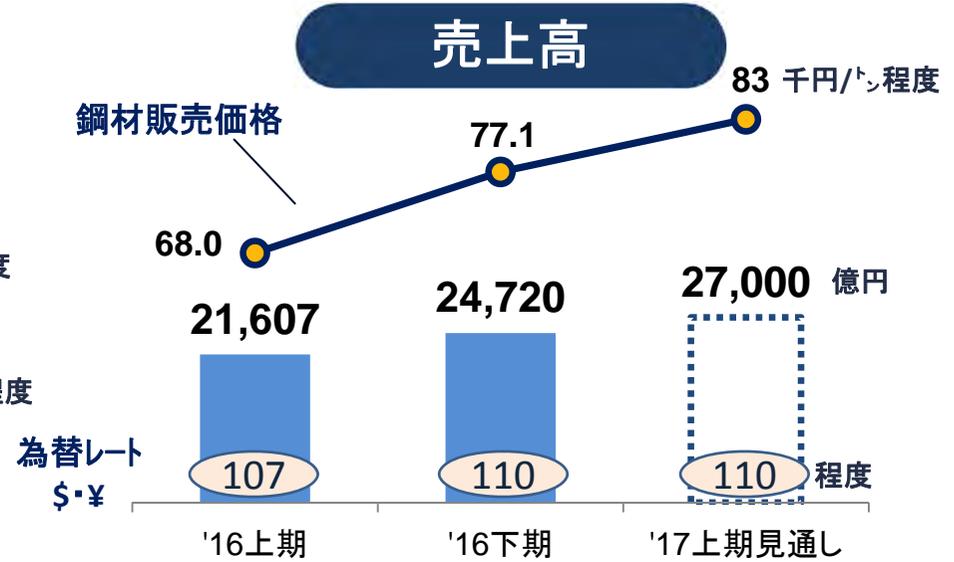
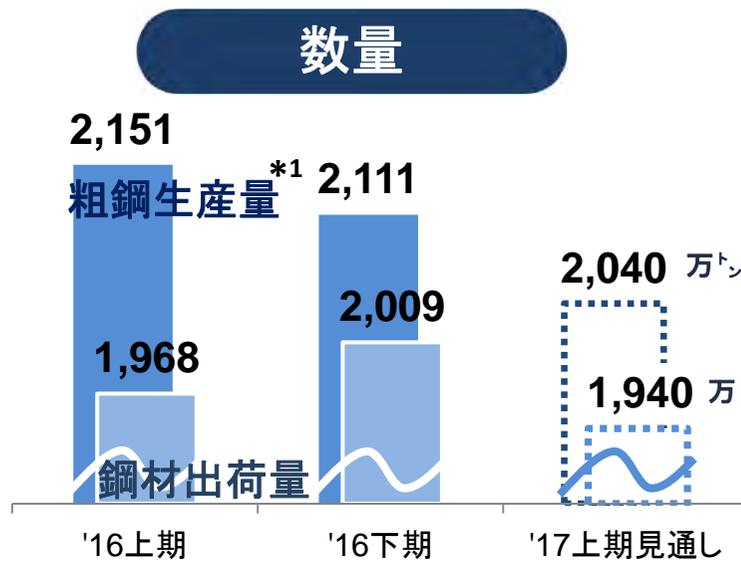
- **原料** : 強粘結炭の値決め方式を変更(ベンチマーク方式→インデックス方式 値決め期間3ヶ月は維持)
- **販売価格** : 16下期原料高騰の価格転嫁が浸透。「再生産可能な適正マージン確保」に向けた交渉に取組中
- **受注** : 油井管 過去最大規模の案件受注(中東向けガス田プロジェクト 23万t 2017.9~2020頃出荷)
- **大分厚板火災(1/5)** : 5/18原因と再発防止策を報告、8月稼働再開予定
- **マザーミル強化** : 室蘭(北海製鉄)第5コークス炉西炉の改修を決定(2019年度上期稼働予定)
- **グローバル戦略** : KNSS(インドネシア自動車向GAPL) 7/24営業運転開始
- **日新製鋼** : 当社の高炉長寿命化技術の移転活用により、呉第1・第2高炉の稼働期間延長
→第1高炉改修・第2高炉休止時期を延期(2023年度末目途)

決算概況

- **17年度第1四半期実績** : 経常利益 1,079億円、当期利益 713億円* (80.8円/株) ROS=8.0%
- **17年度上期見通し** : 経常利益 1,500億円、当期利益 850億円* (96.0円/株) ROS=5.6%
- **17年度見通し** : 経常利益 3,000億円
- **第2四半期末配当** : 25円/株(連結配当性向26%)を予定

* 親会社株主に帰属する当期純利益

主要指標推移

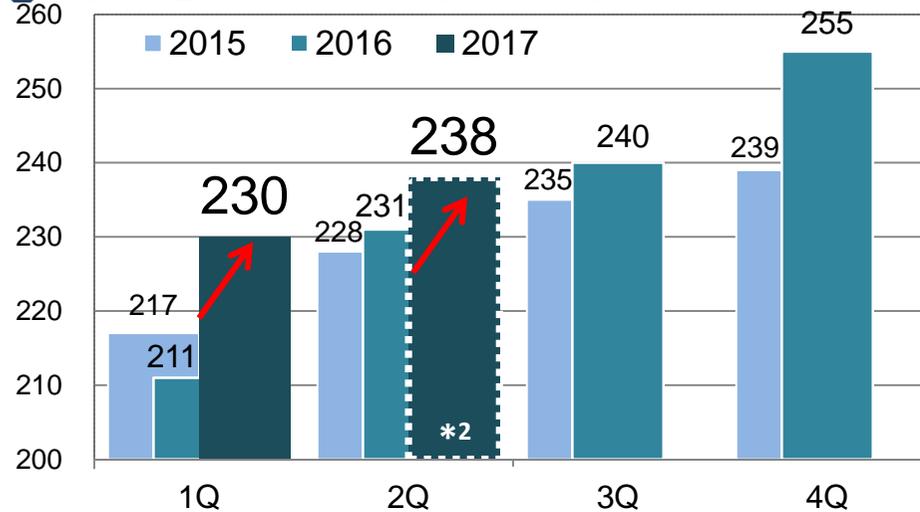


*1 単独+日鉄住金鋼鉄和歌山

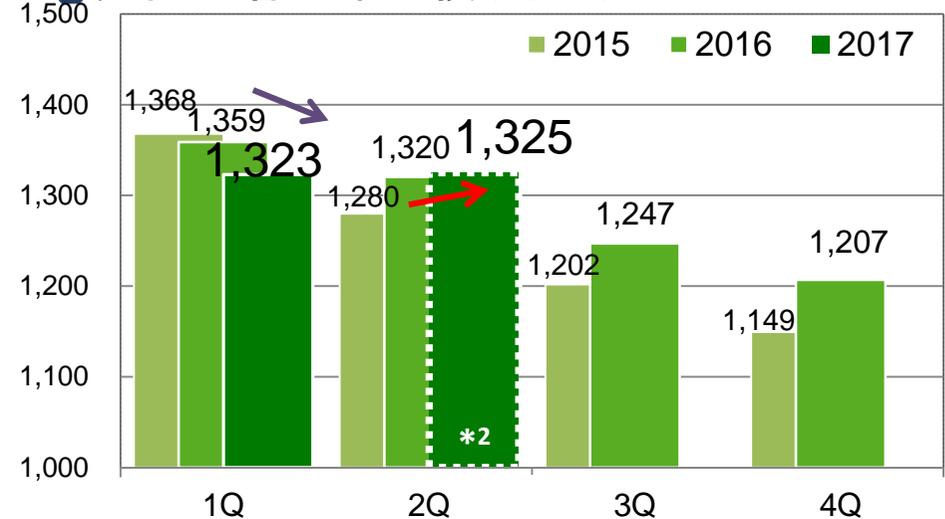
*2 親会社株主に帰属する当期純利益

国内主要分野活動水準

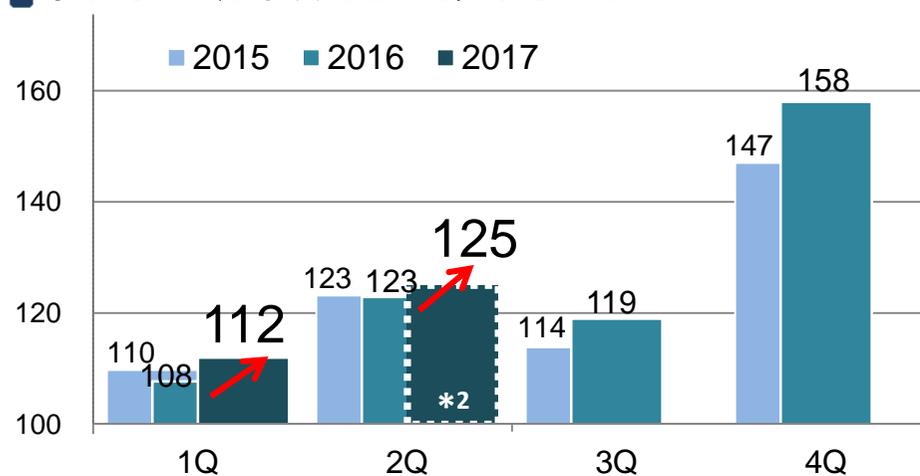
国内完成車生産台数(万台)



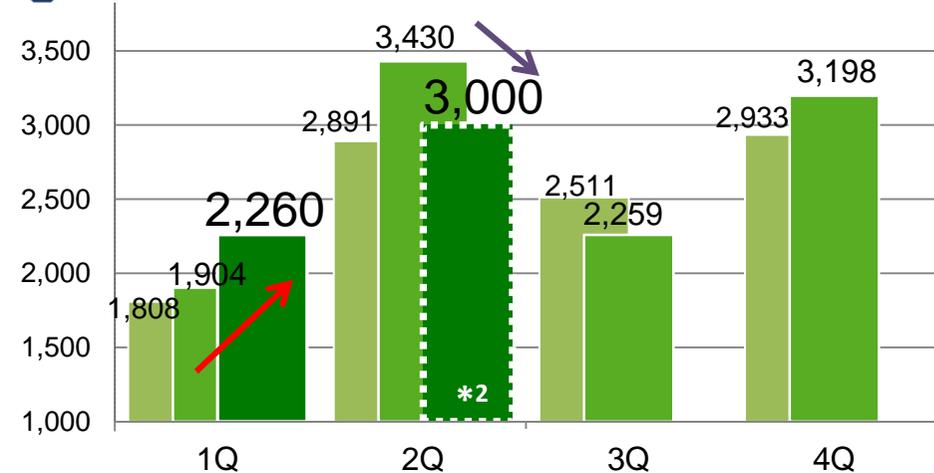
非住宅着工床面積(万㎡)



国内自動車販売台数(万台)



公共工事受注(10億円)

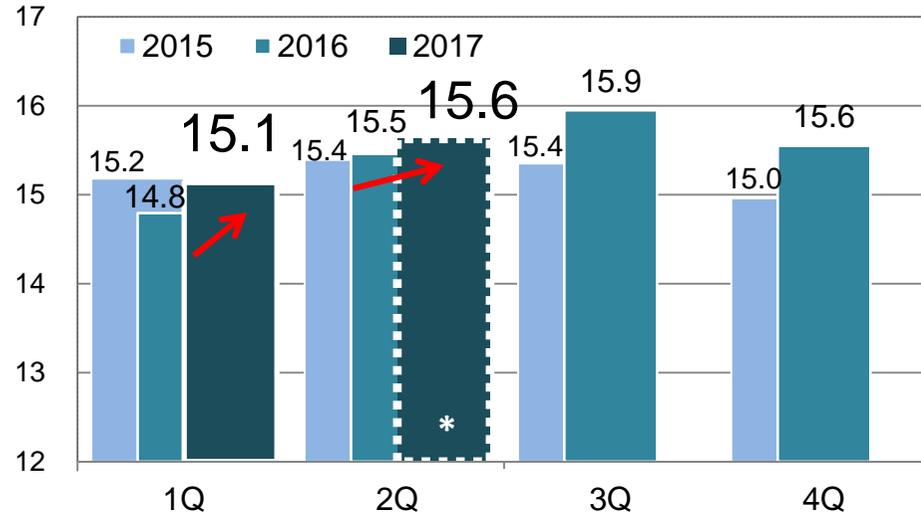


*1 建設工事受注動態統計の公共工事受注額

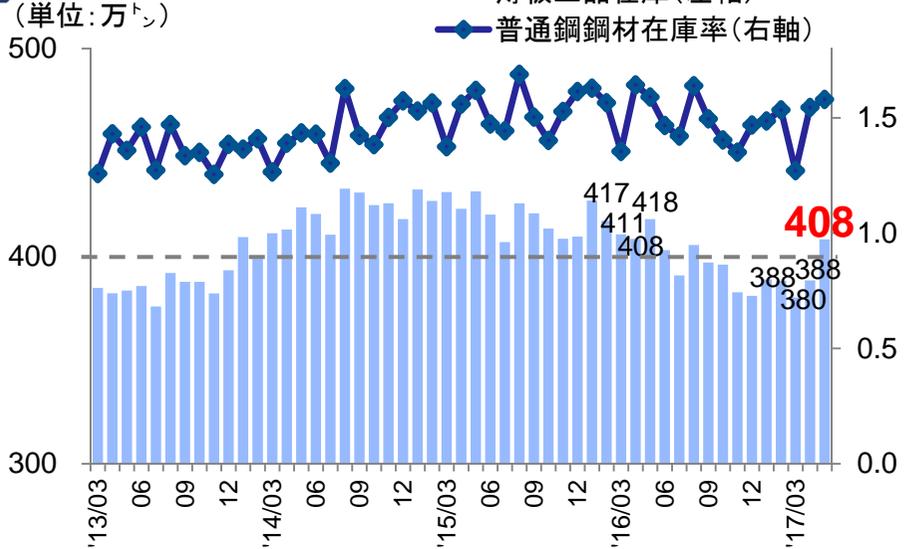
*2 5月下旬見込み値

国内鋼材需給

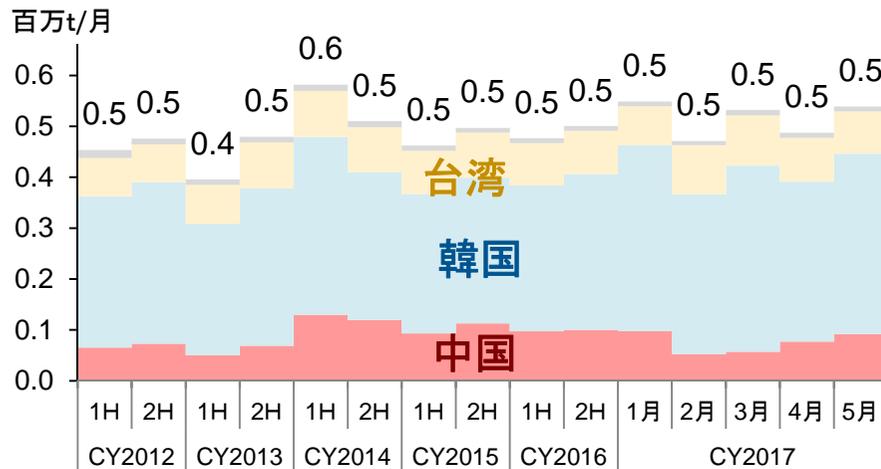
国内鋼材消費(百万t)



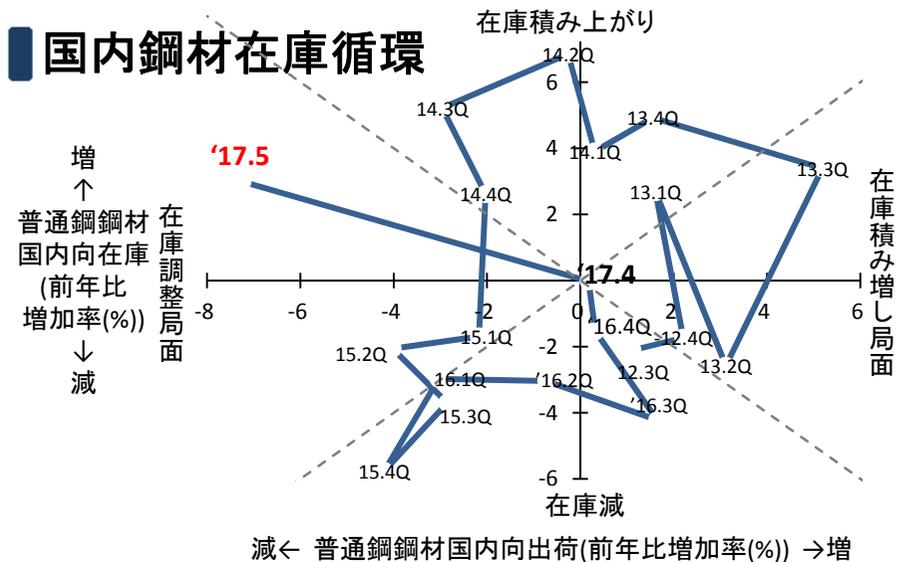
薄板三品在庫



日本への輸入材



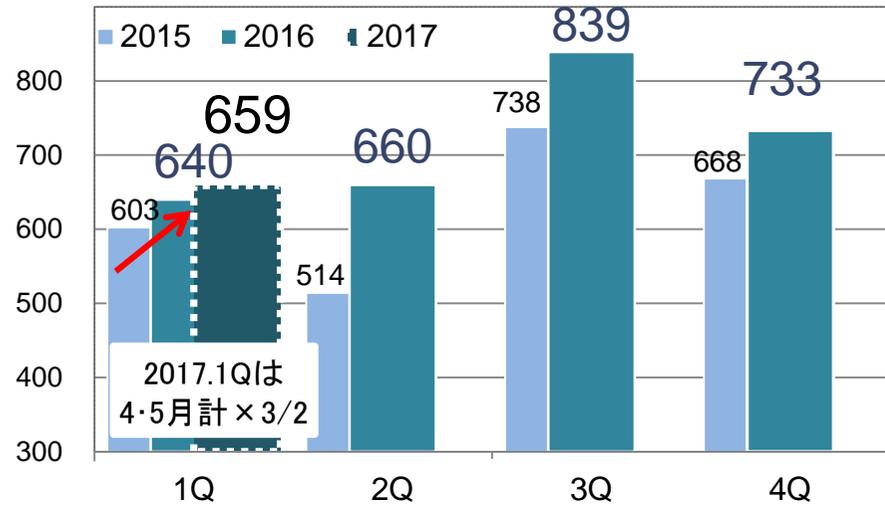
国内鋼材在庫循環



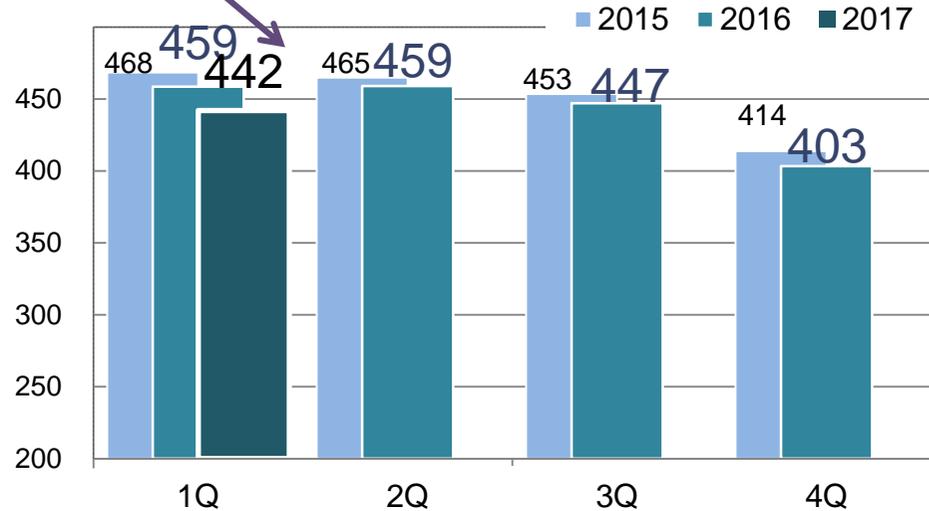
* 5月下旬見込み値

海外主要分野活動水準

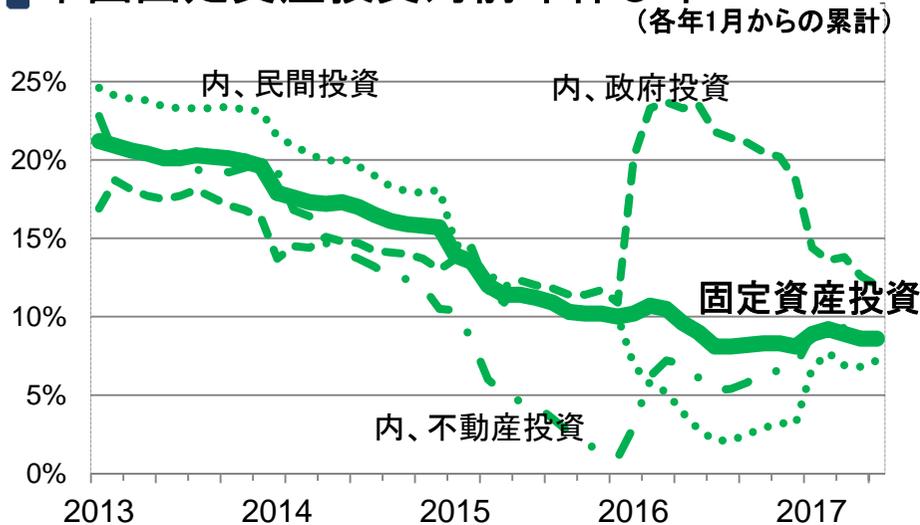
中国完成車生産台数(万台)



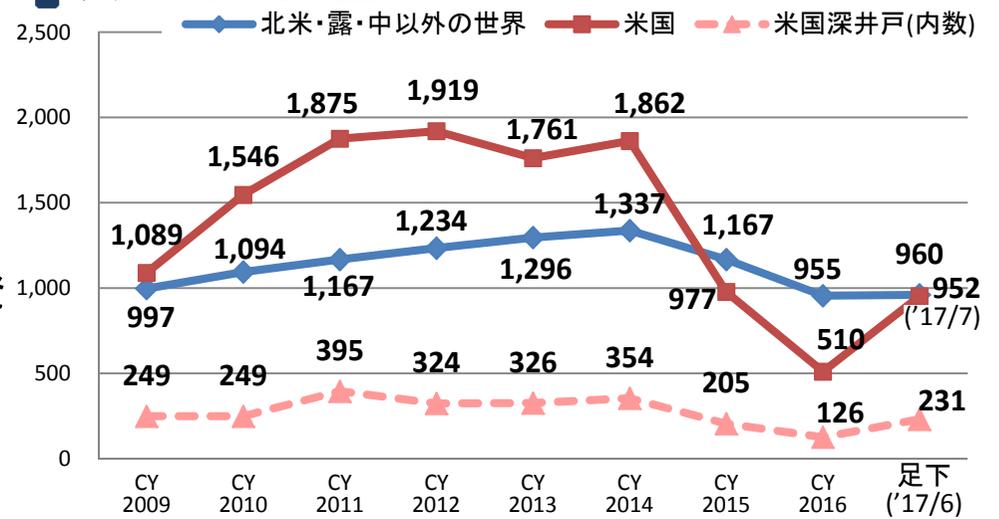
米国自動車販売台数(万台)



中国固定資産投資対前年伸び率



リグカウント(基)



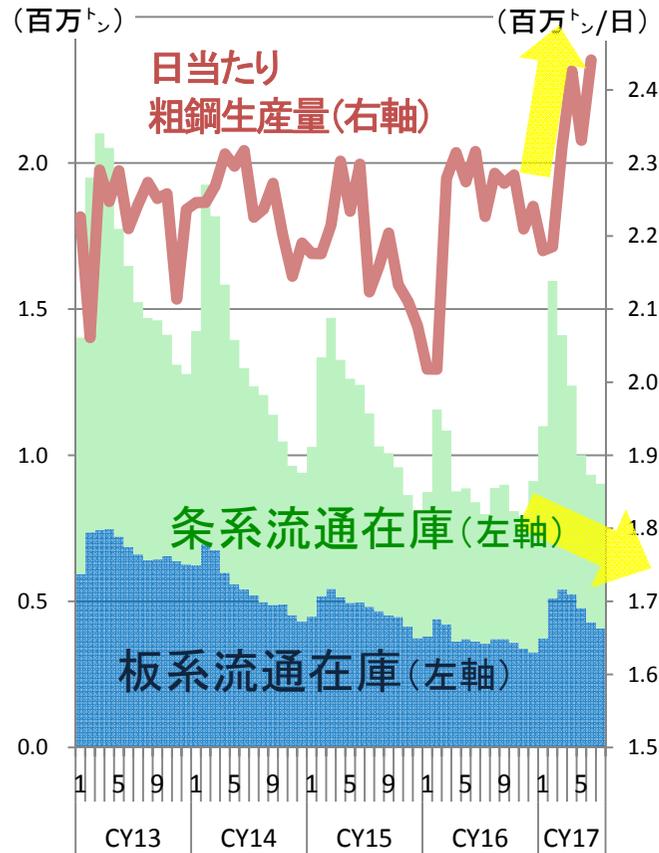
(出所: 中国 国家統計局)

(出所: Baker Hughes)

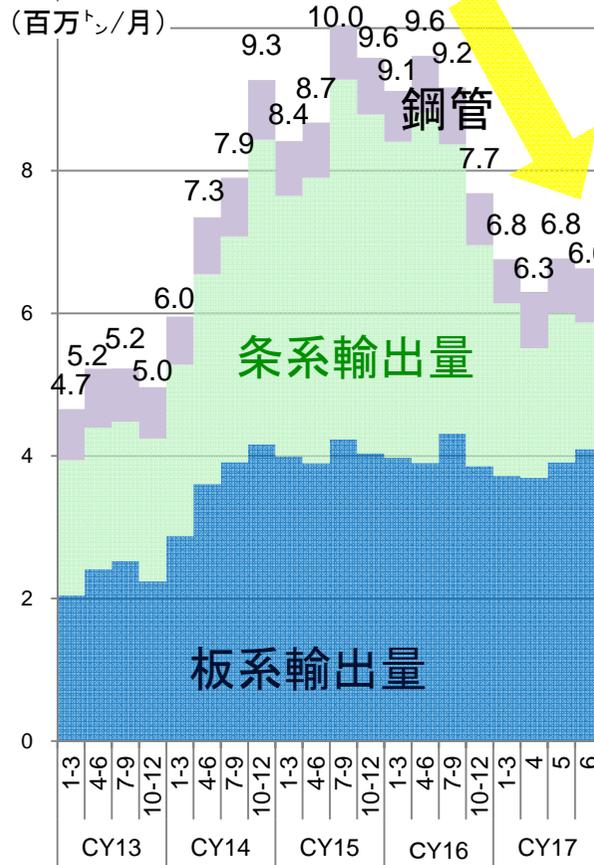


中国鋼材需給・市況

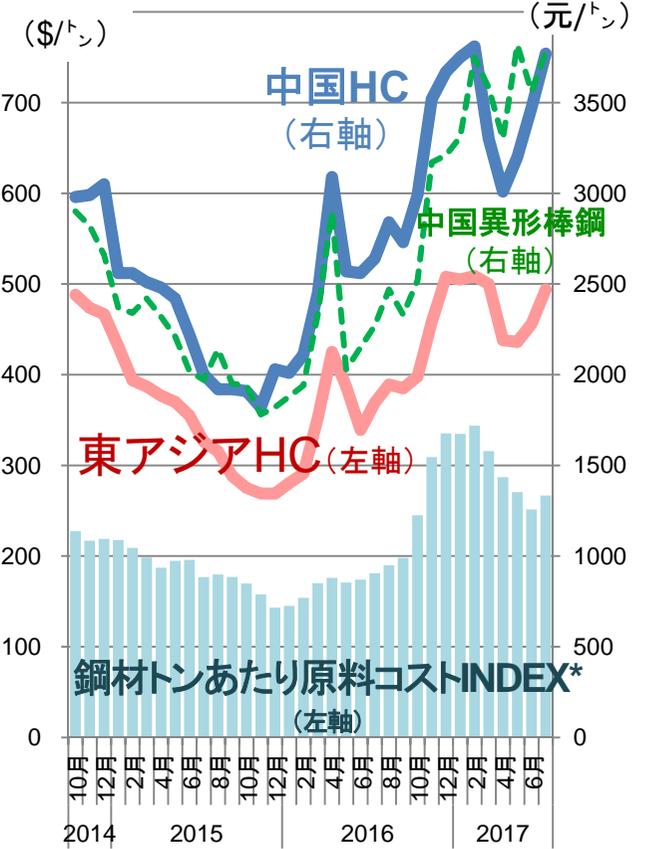
中国粗鋼生産と鋼材流通在庫



中国鋼材輸出 品種別



鋼材市況



- 粗鋼生産: 3月以降急増 6月最高記録更新 ← 内需堅調、統計外地条鋼取締りにより統計内生産増
- 条系: 春節前の在庫積み上げ以降、活発な内需と地条鋼取締りにより需給タイト化 → 在庫減、輸出減、市況上昇
- 板系: 2~3月在庫積上りで市況下落の後、4月以降在庫調整が進展、5月以降市況回復

(出所: 日本鉄鋼連盟、鋼之家、当社推定)

* 鉱石市況 × 1.7 + 石炭市況 × 0.9で計算

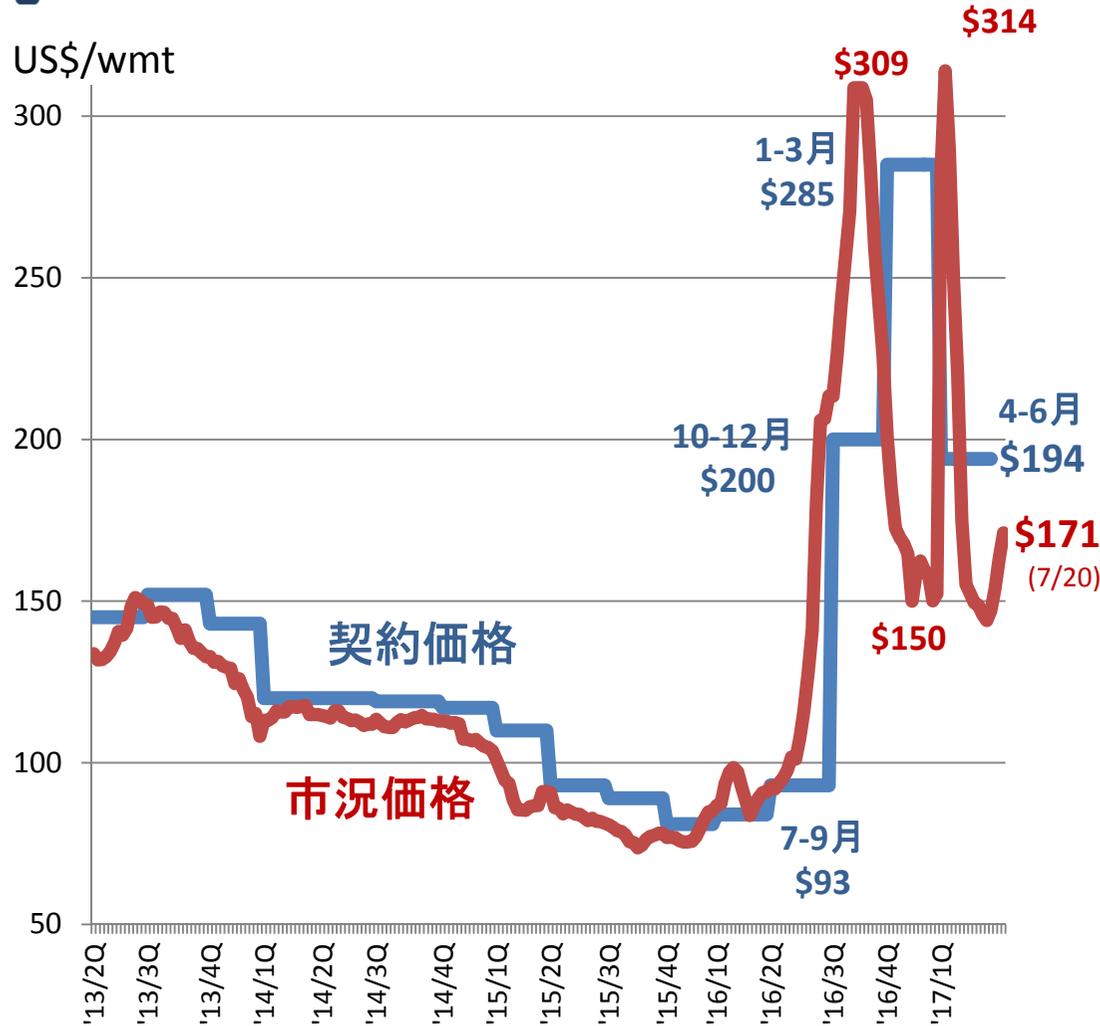


新日鐵住金

NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL

強粘結炭値決め方式の変更

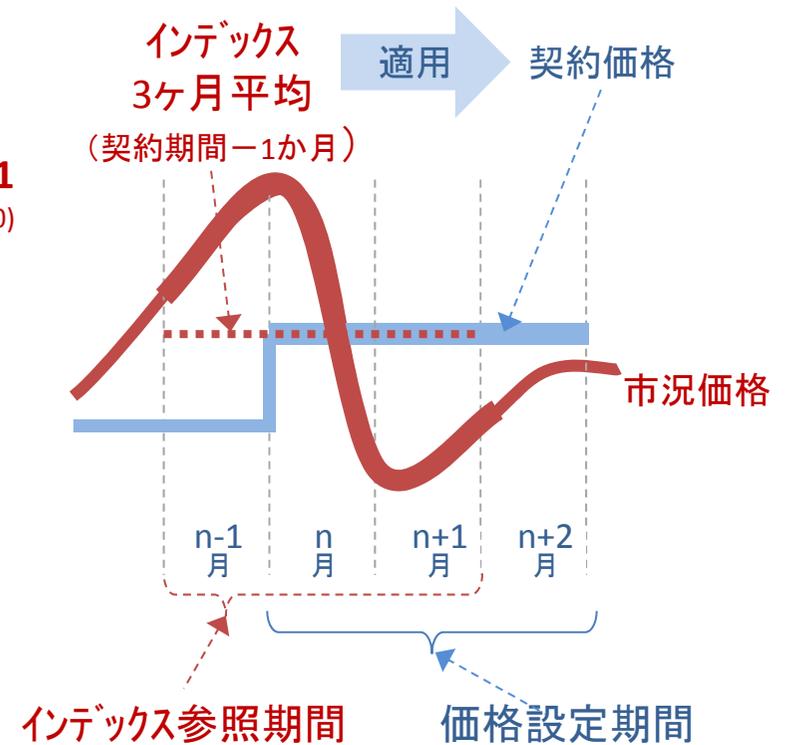
強粘結炭 価格推移



強粘結炭 値決め方式

＜従来＞
四半期毎 ベンチマーク方式(個別交渉)

＜2017年4-6月契約～＞
四半期毎 インデックス方式適用開始
価格平準化維持・透明化を実現



(出所: Bloomberg)

当社製鉄事業 主要指標

(単位:万トﾝ)	FY16						FY17			差異	
	1Q	2Q	上期	4Q	下期	年度	1Q	2Q 見通し	上期 見通し	16/1Q → 17/1Q	16/上 → 17/上見
出銑量 *1	1,049	1,076	2,126	1,024	2,089	4,215	992	1,030	2,020	-58	-106
粗鋼生産量(連結)	1,116	1,153	2,270	1,095	2,247	4,517	1,144	1,210	2,350	+27	+80
粗鋼生産量(単独) *2	1,058	1,093	2,151	1,028	2,111	4,262	990	1,050	2,040	-68	-111
鋼材出荷量	960	1,009	1,968	981	2,009	3,978	934	1,010	1,940	-26	-28
シームレス出荷量	24	23	47	23	46	93	24	22	46	-0	-1
鋼材平均価格 (千円/トﾝ)	68.1	67.9	68.0	83.6	77.1	72.6	84.0	82	83	+15.8	+15
鋼材輸出比率(% [金額ベース])	43	43	43	41	42	42	42	41	41	-2	-2
為替レート(¥・\$)	111	103	107	114	110	109	111	110	110	0円安	3円安

*1 北海製鉄・日鉄住金鋼鉄和歌山含み

*2 日鉄住金鋼鉄和歌山含み

2017年度1Q決算・上期見通し

(単位:億円)	FY16						FY17			差異	
	1Q	2Q	上期	4Q	下期	年度	1Q	2Q 見通し	上期 見通し	16/1Q → 17/1Q	16/上 → 17/上見
売上高	10,511	11,096	21,607	13,008	24,720	46,328	13,554	13,446	27,000	+3,043	+5,393
営業損益	-73	252	178	520	963	1,142	665			+738	
経常損益	-120	400	280	660	1,465	1,745	1,079	421	1,500	+1,199	+1,220
特別損益	-62	-29	-91	237	162	71	-			+62	
当期損益*	-146	256	110	715	1,199	1,309	713	137	850	+859	+740
[1株当たり 当期損益]	[-16.4]	[29.1]	[12.4]	[81.1]	[135.9]	[148.0]	[80.8]	[15.2]	[96.0]	[+97.3]	[+83.6]
EBITDA	641	990	1,630	1,329	2,559	4,189	1,480			+839	
EBITDA / Sales	6.1%	8.9%	7.5%	10.2%	10.4%	9.0%	10.9%			+4.8%	
ROS	-1.1%	3.6%	1.3%	5.1%	5.9%	3.8%	8.0%	3.1%	5.6%	+9.1%	+4.3%
ROE	-2.2%	3.9%	0.8%	10.0%	8.6%	4.6%	9.6%			+11.8%	

* 親会社株主に帰属する当期純利益

特別損益

(単位:億円)	FY16					FY17	
	1Q	2Q	上期	4Q	下期		
特別損益	-62	-29	-91	237	162	71	—
関係会社株式売却益	—	—	—	241	241	241	—
段階取得に係る差益	—	—	—	100	100	100	—
設備休止関連損失	—	-27	-27	-26	-100	-127	—
災害損失	—	—	—	-78	-78	-78	—
事業再編損	-62	-2	-64	—	—	-64	—

大分製鉄所厚板工場火災影響

単位:億円	FY2016 4Q	FY2017 見	累計	
経常損益	-100	-100	-200	生産出荷影響、非定常コスト増等
特別損益	-78		-78	復旧費用
税前損益	-178	-100	-278	

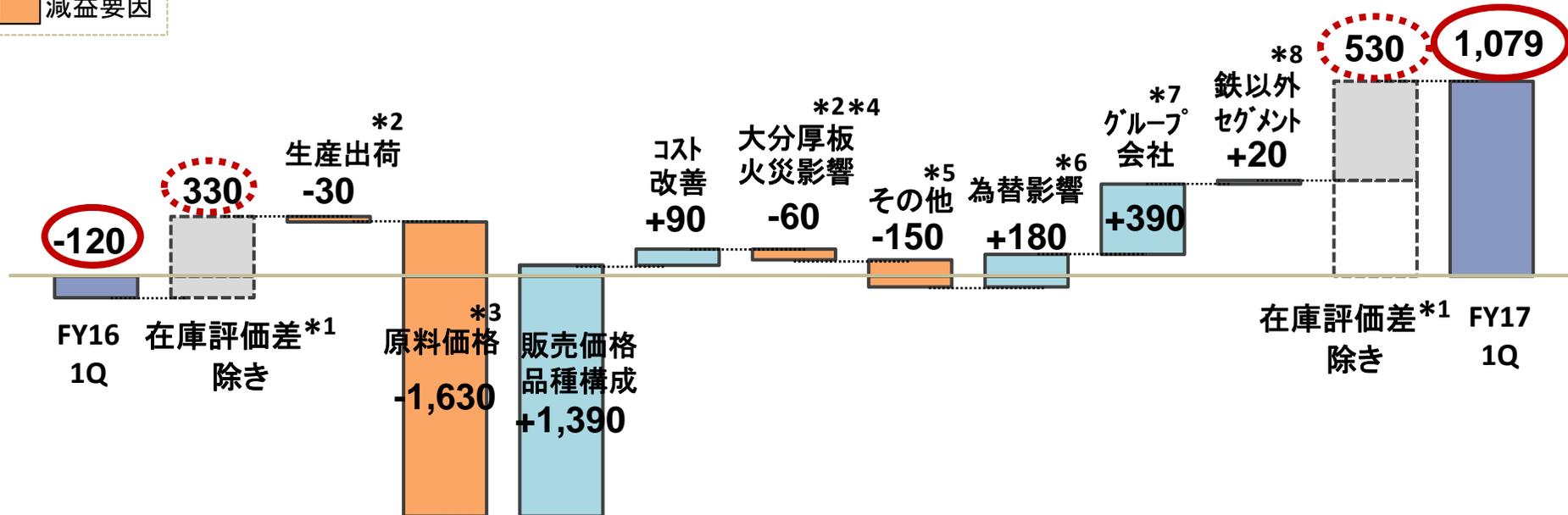
(調整ページ)

経常損益分析 (FY16/1Q→FY17/1Q)

(単位:億円)	FY16/1Q [A]	FY17/1Q [B]	増減 [A→B]
経常利益	-120	1,079	+1,199
製鉄	-161	987	+1,148
鉄以外セグメント	54	74	+20
調整額	-13	18	+31

- *1 在庫評価差 +1,000 (-450 → 550)
- *2 粗鋼-68万トン (1,058→990)
出荷-26万トン (960→934)
※上記、生産出荷量は大分厚板火災影響含み。
但し、影響額は大分厚板火災影響に切り出し。
- *3 キャリーオーバー影響含む
- *4 数量影響 及び コスト影響
- *5 株売却等
- *6 スtock:+180 (-165→ +10) 70-: ~
- *7 原料権益、日新製鋼、海外事業会社等
- *8 エンジニアリング-18、化学+37、
新素材+0、システムソリューション+1

■ 増益要因
■ 減益要因

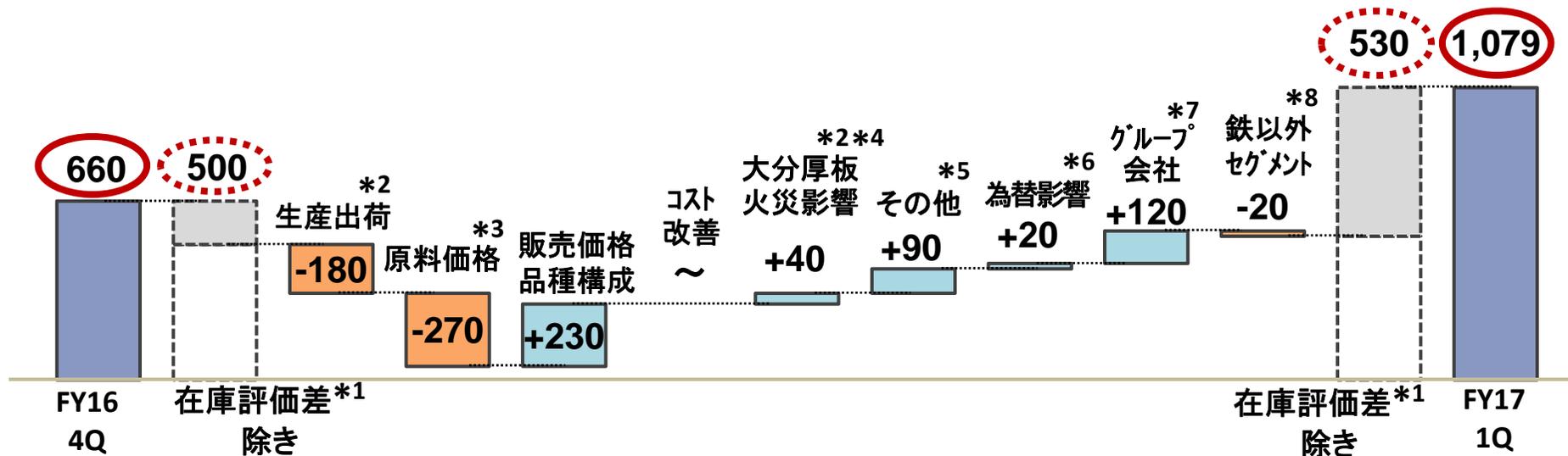


経常損益分析 (FY16/4Q→FY17/1Q)

(単位:億円)	FY16/4Q [A]	FY17/1Q [B]	増減 [A→B]
経常利益	660	1,079	+419
製鉄	561	987	+426
鉄以外セグメント	94	74	-20
調整額	4	18	+14

- *1 在庫評価差 +390 (160 → 550)
- *2 粗鋼-38万ト (1,028→990)
出荷-47万ト (981→934)
※上記、生産出荷量は大分厚板火災影響含み。
但し、影響額は大分厚板火災影響に切り出し。
- *3 キャリーオーバー影響含む
- *4 数量影響 及び コスト影響
- *5 償却費、受取配当 等
- *6 スtock: ~ (10→10) 700: +20
- *7 海外事業会社 等
- *8 エンジニアリング-27、化学+20、
新素材-0、システムソリューション-12

増益要因
 減益要因

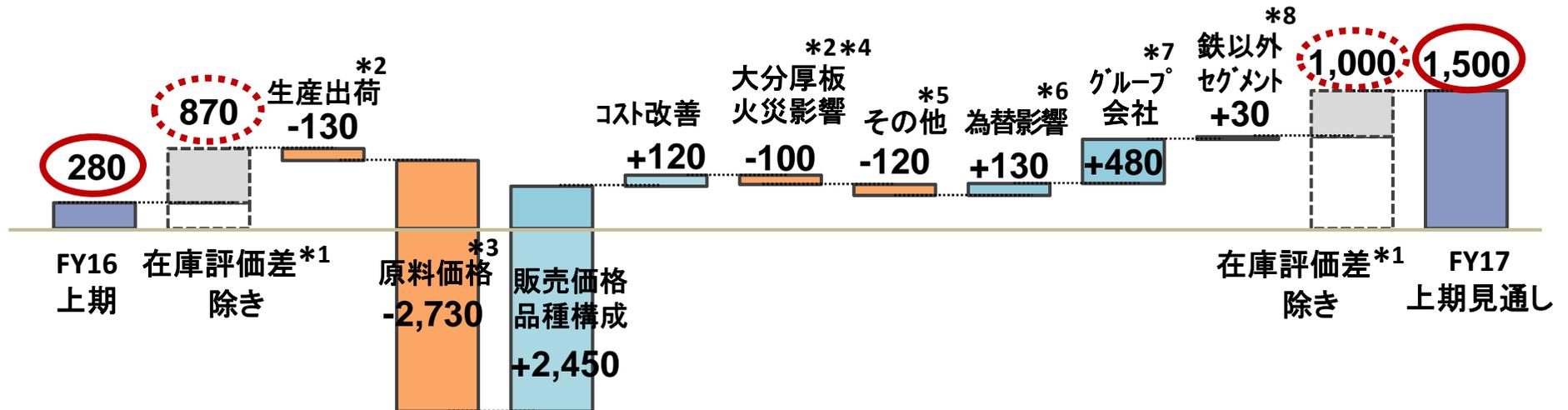


経常損益分析 (FY16/上期→FY17/上期見通し)

(単位:億円)	FY16/上期 [A]	FY17/上期 見通し [B]	増減 [A→B]
経常利益	280	1,500	+1,220
製鉄	140	1,300	+1,160
鉄以外セグメント	134	160	+26
調整額	4	40	+36

- *1 在庫評価差 +1,090 (-590 → 500)
- *2 粗鋼-111万ト程度 (2,151→2,040程度)
出荷-28万ト程度 (1,968→1,940程度)
※上記、生産出荷量は大分厚板火災影響含み。
但し、影響額は大分厚板火災影響に切り出し。
- *3 キャリーオーバー影響含む
- *4 数量影響 及び コスト影響
- *5 償却費等
- *6 ストック:+180 (-200→ -20) 為替:-50
- *7 日新製鋼、原料権益等
- *8 エンジニアリング-15、化学+42、
新素材+0、システムソリューション+4

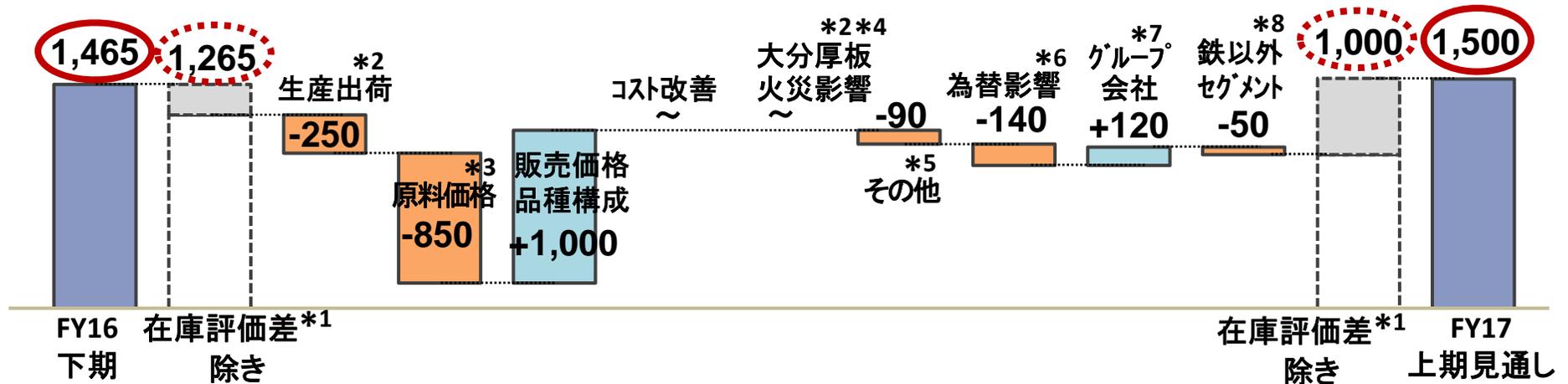
増益要因
 減益要因



経常損益分析 (FY16/下期→FY17/上期見通し)

(単位:億円)	FY16/下期 [A]	FY17/上期 見通し [B]	増減 [A→B]
経常利益	1,465	1,500	+35
製鉄	1,239	1,300	+61
鉄以外セグメント	217	160	-57
調整額	7	40	+33

- *1 在庫評価差 +300 (200 → 500)
- *2 粗鋼-71万トン程度 (2,111→2,040程度)
出荷-69万トン程度 (2,009→1,940程度)
※上記、生産出荷量は大分厚板火災影響含み
但し、影響額は大分厚板火災影響に切り出し。
- *3 キャリーオーバー影響含む
- *4 数量影響 及び コスト影響
- *5 株式売却の減少等
- *6 ストック: -130 (+110→ -20) 7口: -10
- *7 日新製鋼等
- *8 エンジニアリング-54、化学+13、
新素材-4、システムソリューション-11

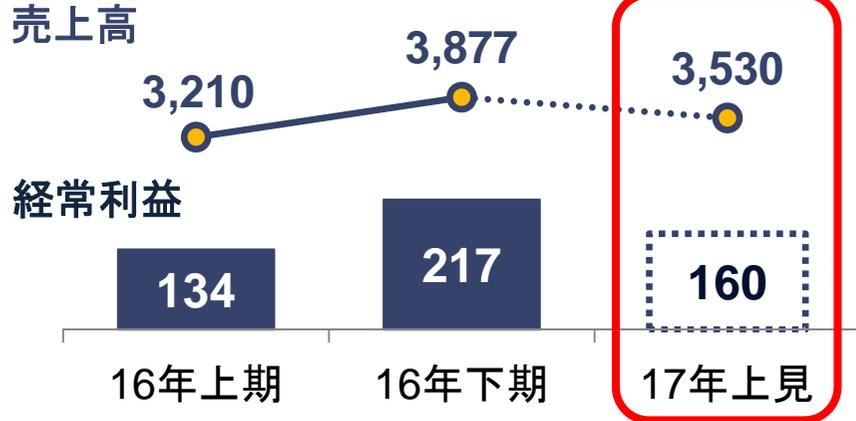


製鉄以外セグメント概況

売上高・経常利益推移

(単位:億円)

(4セグメント合計)



2017年度上期 経常損益動向 (前年同期対比)

エンジニアリング事業	↓ 減益	原油価格低迷や海外鉄鋼メーカーの投資手控え等の影響により減益の見通し。
化学事業	↑ 増益	化学品の市況改善や機能材料販売増により増収見込み。経常損益は、機能材料販売増やコールドメカ事業の赤字縮減により増益見込み。
新素材事業	↓ 減益	表面処理銅ワイヤや炭素繊維の需要は堅調に増加したものの、価格競争等の影響を受け減益の見通し。
システムソリューション事業	↑ 増益	販管費増を見込むも、業務ソリューション、サービスソリューション共に好調により増収増益の見通し。

(単位:億円)

エンジニアリング事業	2016		2017	
	1Q	上期	1Q	上見
売上高	554	1,165	608	1,300
経常利益	12	15	-6	0

化学事業	2016		2017	
	1Q	上期	1Q	上見
売上高	392	812	465	950
経常利益	-12	8	25	50

新素材事業	2016		2017	
	1Q	上期	1Q	上見
売上高	86	171	90	180
経常利益	4	7	4	5

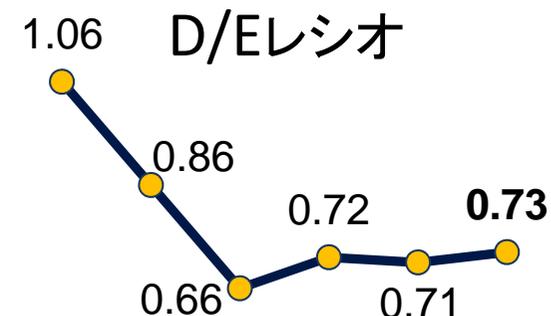
システムソリューション事業	2016		2017	
	1Q	上期	1Q	上見
売上高	500	1,060	581	1,100
経常利益	49	103	50	105

貸借対照表

(億円)	2017年 3月末	2017年 6月末	(億円)	2017年 3月末	2017年 6月末
流動資産合計	22,444	23,060	負債合計	39,709	39,890
たな卸資産	12,156	13,297	有利子負債	21,048	21,796
固定資産合計	50,174	50,065	純資産合計	32,910	33,236
有形固定資産	28,408	28,417	自己資本	29,482	29,787
投資有価証券	8,163	8,204	評価差額金*	2,692	2,712
関係会社株式	10,413	10,226	非支配株主持分	3,427	3,448
資産合計	72,619	73,126	負債純資産合計	72,619	73,126

	2017年3月末	2017年6月末	増減
総資産 (億円)	72,619	73,126	+507
有利子負債(〃)	21,048	21,796	+747
自己資本 (〃)	29,482	29,787	+305
D/Eレシオ (倍)	0.71	0.73	+0.02

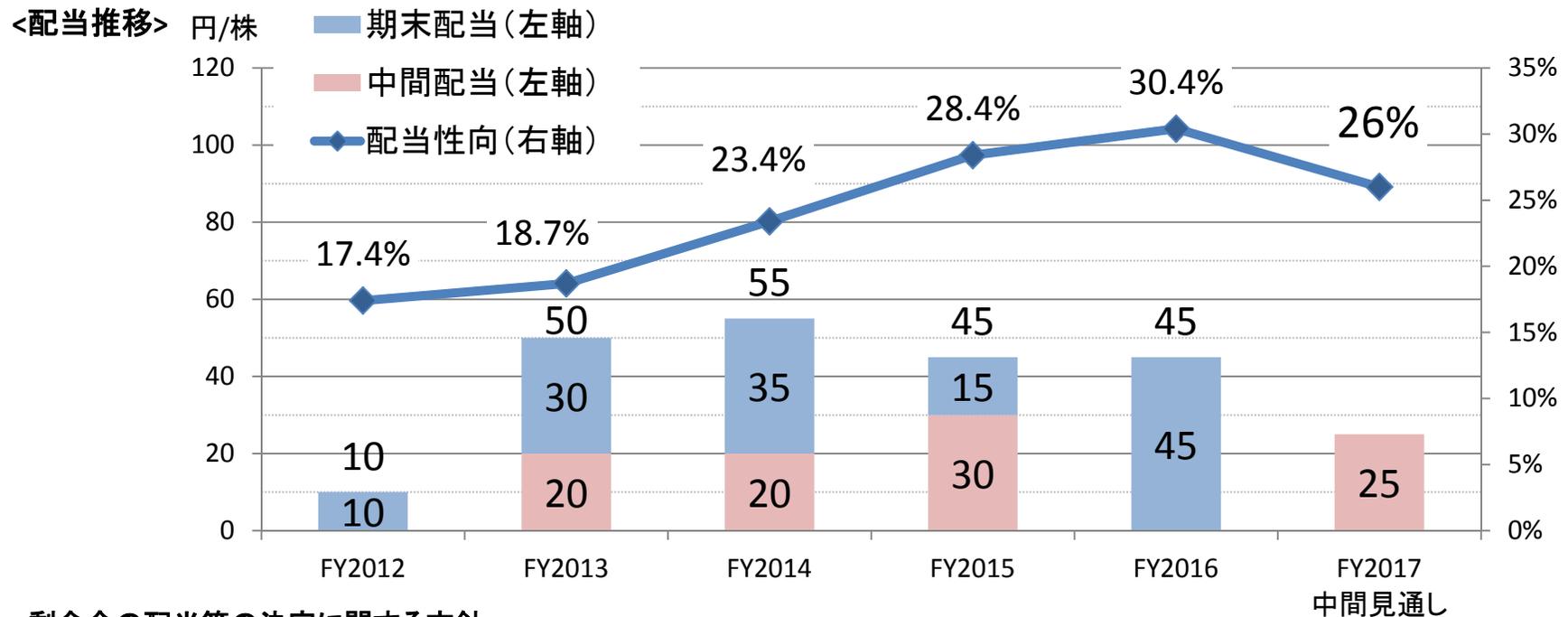
D/Eレシオ



* その他有価証券評価差額金

第2四半期末の剰余金の配当

当第2四半期末の剰余金の配当につきましては、既公表の配当方針に従い、1株につき25円（連結配当性向26%）とさせていただきます。



<剰余金の配当等の決定に関する方針>

当社は、業績に応じた利益の配分を基本として、企業価値向上に向けた投資等に必要な資金所要、先行きの業績見通し、連結及び単独の財務体質等を勘案しつつ、第2四半期末及び期末の剰余金の配当を実施する方針と致しております。

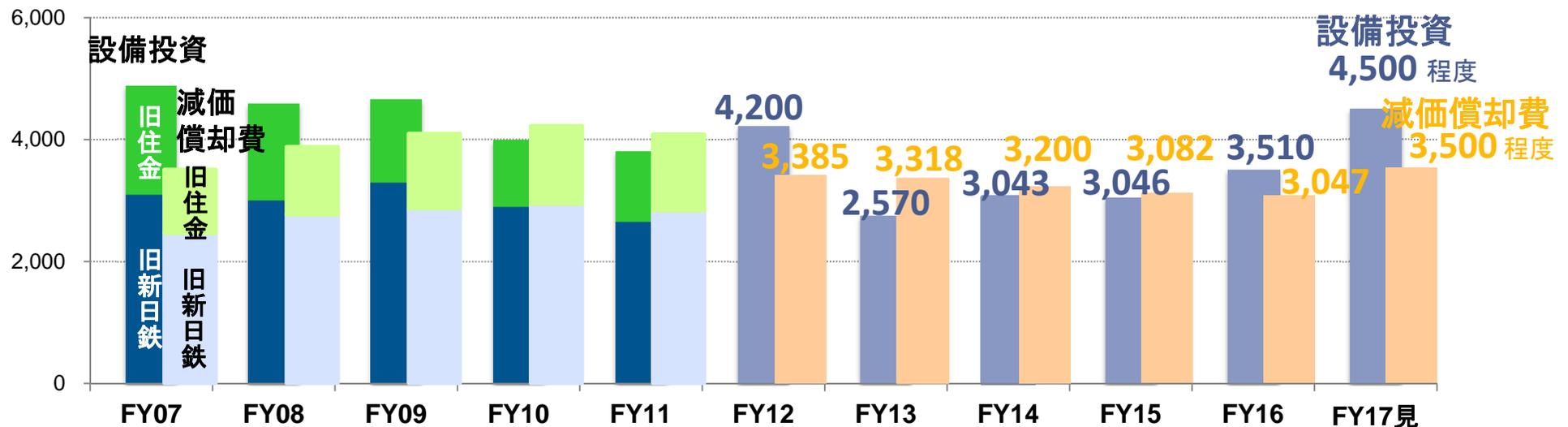
「業績に応じた利益の配分」の指標としては、連結配当性向年間20～30%を目安と致します。

※ 2015年10月1日を効力発生日として、10株を1株とする株式併合を実施したため、2012年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり配当額を算定

設備投資・減価償却費

(単位:億円)

新日鐵住金 (上段:新日鉄 下段:住金)	FY07	FY08	FY09	FY10	FY11	FY12	FY13	FY14	FY15	FY16	FY17見
設備投資 <工事ベース>	4,900 (3,100) (1,788)	4,600 (3,000) (1,591)	4,650 (3,300) (1,366)	4,000 (2,900) (1,099)	3,800 (2,650) (1,157)	4,200	2,570	3,043	3,046	3,510	4,500 程度 (内、日新製鋼 410程度)
減価償却費	3,465 (2,440) (1,025)	3,835 (2,737) (1,098)	4,048 (2,840) (1,208)	4,177 (2,915) (1,262)	4,038 (2,809) (1,229)	3,385	3,318	3,200	3,082	3,047	3,500 程度 (内、日新製鋼 360程度)



※ 設備投資：FY07～12の新日鐵住金は、新日鉄と住金の合算値を50億円単位で四捨五入

2. 2017年度見通し

2017年度下期・年度見通し

2017年度下期は、上期に引き続き自動車、建設・土木需要を中心に国内需要は堅調。海外需要も総じて堅調と見込んでおり、2017年度下期の連結経常利益1,500億円、通期で3,000億円以上を目指す。

■ 下期見通しの考え方 (矢印: 対FY17上期 損益影響)

↑ 生産・出荷
↑ マージン

↑ コスト改善: 年間500億円
↓ 在庫評価差損

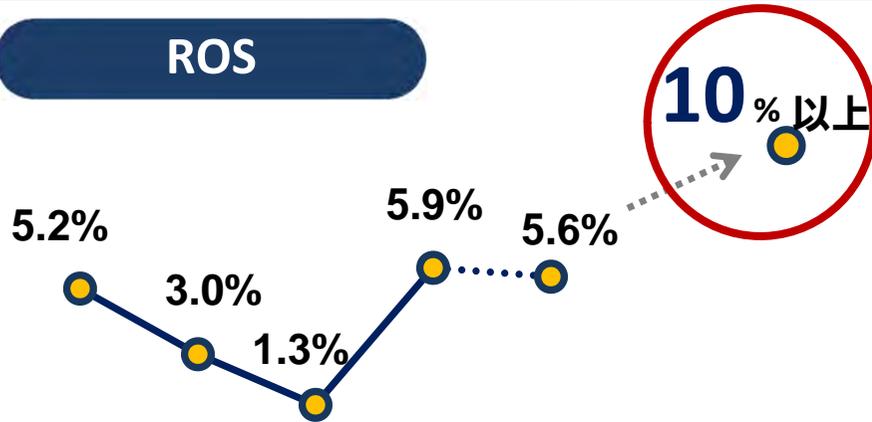
(単位: 億円)	FY16			FY17					差異	
	上期	下期	年度	1Q	2Q 見通し	上期 見通し	下期 見通し	年度 見通し	17/上期 → 17/下期	16年 → 17年見
売上高	21,607	24,720	46,328	13,554	13,446	27,000				
経常利益	280	1,465	1,745	1,079	421	1,500	1,500	3,000	+0	+1,255
当期利益*	110	1,199	1,309	713	137	850				

* 親会社株主に帰属する当期純利益

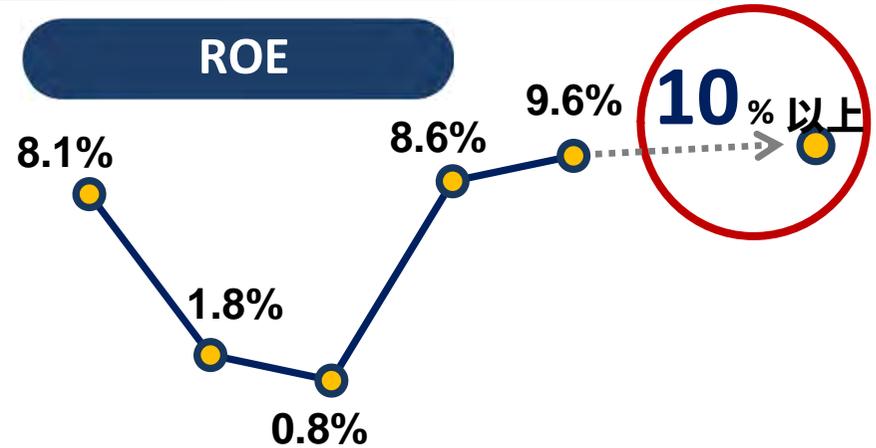
3. 中期経営計画の進捗状況

中期経営計画 進捗状況： 定量的指標

ROS



ROE



コスト改善 (億円)



D/Eレシオ



中期経営計画 進捗状況： 主要計画進捗

社名／製造所		内容	FY15 2H	FY16	FY17	FY18 以降		
マザーミルの 強化	君津	第3高炉休止		★3月				
	八幡	鉄源最適生産体制構築				★ FY18～20予定		
	鹿島・君津・室蘭	コークス炉リフレッシュ	(鹿/1F) 8月	★(君/第4A) 8月	★(君/第4B) 1月	★(鹿/2E) FY18.4 予定	★(君/第5) FY18.2H 予定	★(室/第5) FY19.1H 予定
	日新製鋼 呉	第1高炉改修・第2高炉休止				★ FY23予定		
グローバル 事業強化	ICI (米国:クランクシャフト/鍛造プレスライン新設)	第4ライン商業生産開始	★10月					
	NSCh (中国:自動車向線材/NBC中国の能力増強)	稼働開始	★12月					
	VSB・VBR統合 (伯:鋼管/ハローレックの100%子会社との統合)	経営統合		★10月				
	AGIS (UAE:建材薄板/第2溶融亜鉛めっきライン)	第2溶融亜鉛めっきライン 商業生産開始		★10月				
	VAM® BRN (ブルネイ:鋼管/住友商事とのJV)	稼働開始		★11月				
	WTC (米国:電線管/Wheatland Tube社へ売却)	株式売却契約締結		★12月				
	KOS (インドネシア:建材/大阪製鐵とPTKSとのJV)	商業生産開始		★1月				
	KNSS (インドネシア:自動車鋼板/PTKSとのJV)	商業生産開始			★7月			
	NSCI (米国:自動車用線材/二次加工メーカーとのJV)	稼働開始予定			★ FY17予定			
NS BlueScope (タイ:建材薄板/第3溶融めっきラインの新設)	第3溶融めっきライン新設				★ FY18予定			

4. 参考データ

主要需要分野の活動水準

〔国内〕		FY16					年度	FY17			差異	
		1Q	2Q	上期	4Q	下期		1Q	2Q ^{*2} 見通し	上期 ^{*2} 見通し	16/1Q → 17/1Q	16/上 → 17/上見
建設	住宅着工戸数（万戸）	25	25	50	22	47	97	24	25	48	-1	-2
	非住宅着工面積（万㎡）	1,359	1,320	2,679	1,207	2,454	5,133	1,323	1,325	2,648	-36	-31
	公共工事受注 ^{*1} （10億円）	1,904	3,430	5,333	3,198	5,456	10,790	2,260	3,000	5,260	+356	-73
自動車	完成車生産台数（万台）	211	231	441	255	495	936	230	238	468	+20	+27
	完成車輸出台数（万台）	108	118	226	111	238	464	118	119	237	+10	+12
	海外生産（8社）（万台）	462	457	919	489	971	1,890					
産業機械	大中型ショベル（千台）	16	16	32	19	35	66	17	17	34	+1	+2
	金属工作機械（千トン）	88	90	178	96	188	367	89	96	185	+2	+7
造船	新造船起工（万グロストン）	307	327	634	290	603	1,236	290	290	580	-17	-54

リグカウント状況	CY09	CY10	CY11	CY12	CY13	CY14	CY15	CY16	CY17	直近	直近ピーク	直近ボトム
米国	1,089	1,546	1,875	1,919	1,761	1,862	977	510	816	952 ('17/7)	2,031 ('08/9/12)	404 ('16/5/20)
深井戸（≥15,000ft）	249	249	395	324	326	354	205	126	228	231 ('17/6)	413 ('11/11)	98 ('16/5)
北米・露・中を除く世界	997	1,094	1,167	1,234	1,296	1,337	1,167	955	948	960 ('17/6)	1,382 ('14/7)	920 ('16/10)

（出所：各種統計資料・当社推定） *1 建設工事受注動態統計の公共工事受注額

*2 5月下旬見込み値



新日鐵住金

NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL

国内主要需要分野の鋼材消費

(単位:万ト)	FY16						FY17			16/1Q → 17/1Q	16/上 → 17/上見
	1Q	2Q	上期	4Q	下期	年度	1Q*	2Q* 見通し	上期* 見通し		
全国粗鋼生産量	2,621	2,633	5,254	2,623	5,262	10,517	2,608	2,629	5,237	-13	-18
国内鋼材消費	1,479	1,546	3,025	1,555	3,150	6,175	1,514	1,563	3,076	+35	+51
製造業比率 (%)	63.2	63.2	63.2	63.0	62.7	62.9	62.8	62.3	62.6	-0.4	-0.6
普通鋼鋼材消費	1,169	1,224	2,393	1,242	2,505	4,897	1,197	1,240	2,437	+28	+44
建設	517	541	1,058	550	1,123	2,181	535	561	1,096	+18	+38
製造業	653	682	1,335	692	1,381	2,716	662	679	1,341	+9	+6
うち、造船	106	108	214	99	203	417	99	99	198	-7	-16
うち、自動車	256	275	531	284	567	1,098	272	279	551	+16	+21
うち、産業機械	109	115	224	115	229	452	112	116	228	+3	+4
うち、電気機械	68	74	142	75	145	287	68	73	141	-0	-1
特殊鋼鋼材消費	310	322	632	313	645	1,277	317	323	640	+7	+8
鋼材輸入	150	158	308	169	337	646					
鋼材輸出	1,028	1,042	2,070	981	1,977	4,047					

(出所:各種統計資料・当社推定)

* 5月下旬見込み値

世界の経済成長率推移

<2017年7月24日IMF改定値>

前回(2017.4.18)

	CY08	CY09	CY10	CY11	CY12	CY13	CY14	CY15	CY16	CY17 見通し	CY18 見通し
世界合計	3.0	-0.5	5.3	3.9	3.4	3.4	3.4	3.4	(3.1) 3.2	(3.5) 3.5	(3.6) 3.6
先進諸国	0.5	-3.4	3.2	1.7	1.2	1.4	1.9	2.1	(1.7) 1.7	(2.0) 2.0	(2.0) 1.9
米国	0.4	-2.6	3.0	1.8	2.3	2.2	2.4	2.6	(1.6) 1.6	(2.3) 2.1	(2.5) 2.1
欧州	0.6	-4.1	1.9	1.5	-0.7	-0.4	0.9	2.0	(1.7) 1.8	(1.7) 1.9	(1.6) 1.7
日本	-1.2	-6.3	4.4	-0.6	1.5	1.6	0.0	1.1	(1.0) 1.0	(1.2) 1.3	(0.6) 0.6
新興諸国	6.1	2.7	7.5	6.2	5.1	5.0	4.6	4.3	(4.1) 4.3	(4.5) 4.6	(4.8) 4.8
中国	9.6	9.2	10.4	9.3	7.7	7.7	7.3	6.9	(6.7) 6.7	(6.6) 6.7	(6.2) 6.4
インド	7.3	6.8	10.6	6.3	4.7	6.9	7.2	8.0	(6.8) 7.1	(7.2) 7.2	(7.7) 7.7
ASEAN5*	4.7	1.7	7.0	4.5	6.2	5.1	4.6	4.9	(4.9) 4.9	(5.0) 5.1	(5.2) 5.2
ロシア	5.6	-7.8	4.3	4.3	3.4	1.3	0.7	-2.8	(-0.2) -0.2	(1.4) 1.4	(1.4) 1.4
ブラジル	5.1	-0.6	7.5	2.7	1.0	2.7	0.1	-3.8	(-3.6) -3.6	(0.2) 0.3	(1.7) 1.3

(出所: IMF)

* ASEAN 5 : タイ、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム



新日鐵住金

NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL

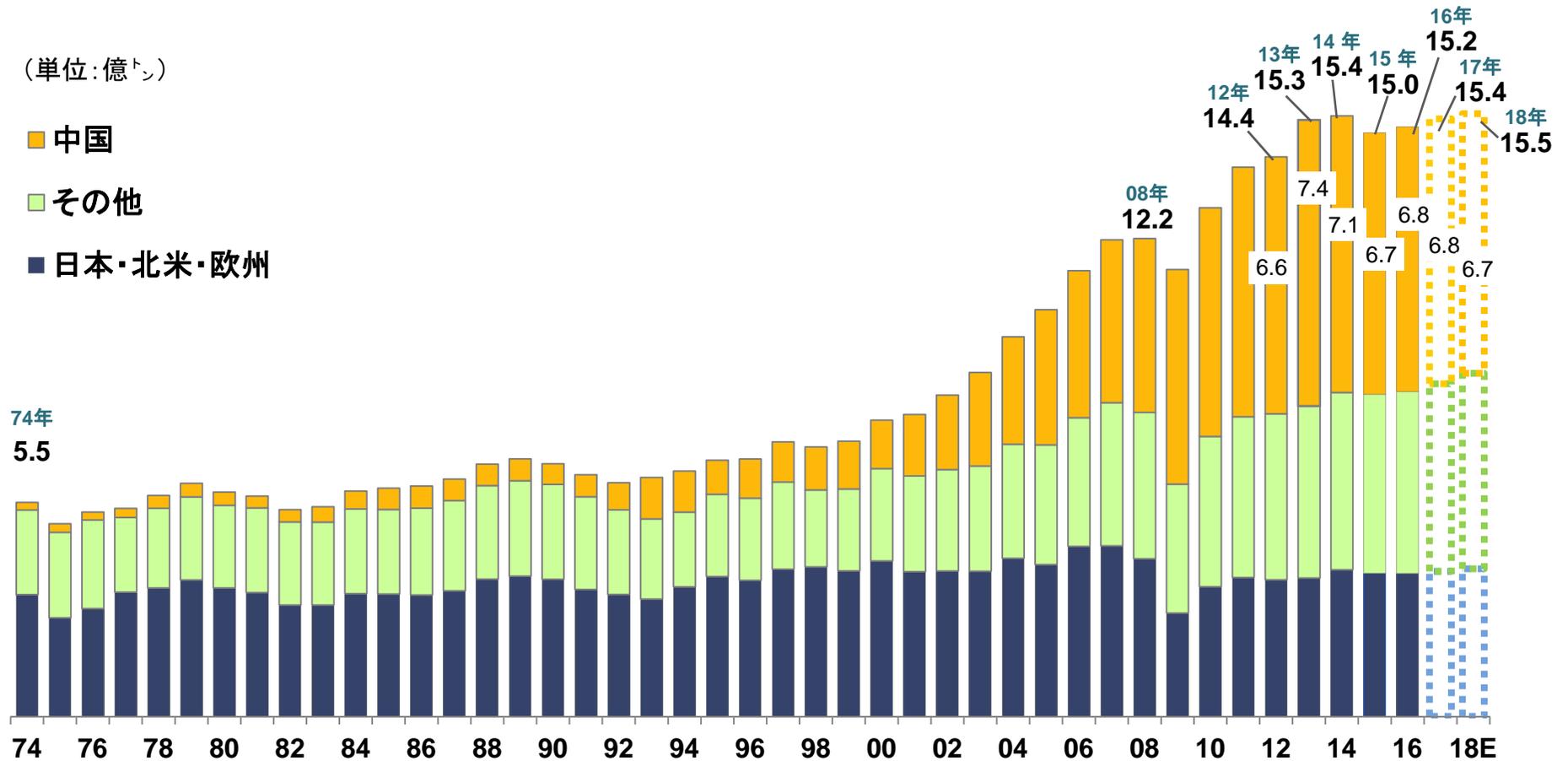
世界の鉄鋼需要推移(鋼材見掛消費) <2017年4月21日WSA改訂値>

前回(2016年10月11日)



(単位:億トン)

- 中国
- その他
- 日本・北米・欧州



(出所: World Steel Association)

世界月別粗鋼生産量

(百万トン)	CY16 [A]	CY17						CY17 年率換算 [C] (B*12/6)	差異 (A → C)
		1-3	4	5	6	4-6	1-6 [B]		
世界計* (前年同期比)	1,604.0 (+0.4%)	408.8 (+5.9%)	142.2 (+5.6%)	143.2 (+2.8%)	141.0 (+3.6%)	427.2 (+4.1%)	836.0 (+5.0%)	1,672.1	+68.1 (+4.2%)
日本 (前年同期比)	104.8 (-0.4%)	26.2 (+1.5%)	8.8 (+3.0%)	8.9 (-0.1%)	8.4 (-4.3%)	26.1 (-0.5%)	52.3 (+0.5%)	104.6	-0.2 (-0.2%)
韓国 (前年同期比)	68.6 (-1.6%)	17.3 (+4.7%)	5.5 (-2.7%)	6.0 (+3.6%)	5.9 (+7.7%)	17.4 (+2.8%)	34.7 (+3.8%)	69.4	+0.8 (1.2%)
米国	78.6	20.3	6.7	6.9	6.7	20.3	40.6	81.2	+2.6
EU28	162.3	42.6	14.4	14.8	14.4	43.5	86.1	172.3	+10.0
ロシア	70.8	17.9	6.1	6.0	5.3	17.5	35.3	70.7	-0.1
ブラジル	30.2	8.2	2.9	2.9	2.6	8.5	16.7	33.4	+3.2
インド	95.6	25.1	8.2	8.2	8.0	24.4	49.5	99.0	+3.3
中国 (前年同期比)	808.4 (+0.6%)	200.8 (+4.7%)	72.8 (+4.8%)	72.3 (+2.5%)	73.2 (+5.4%)	219.0 (+4.6%)	419.7 (+4.6%)	839.5	+31.1 (+3.8%)

(出所 : World Steel Association)

* 世界66カ国の合計値

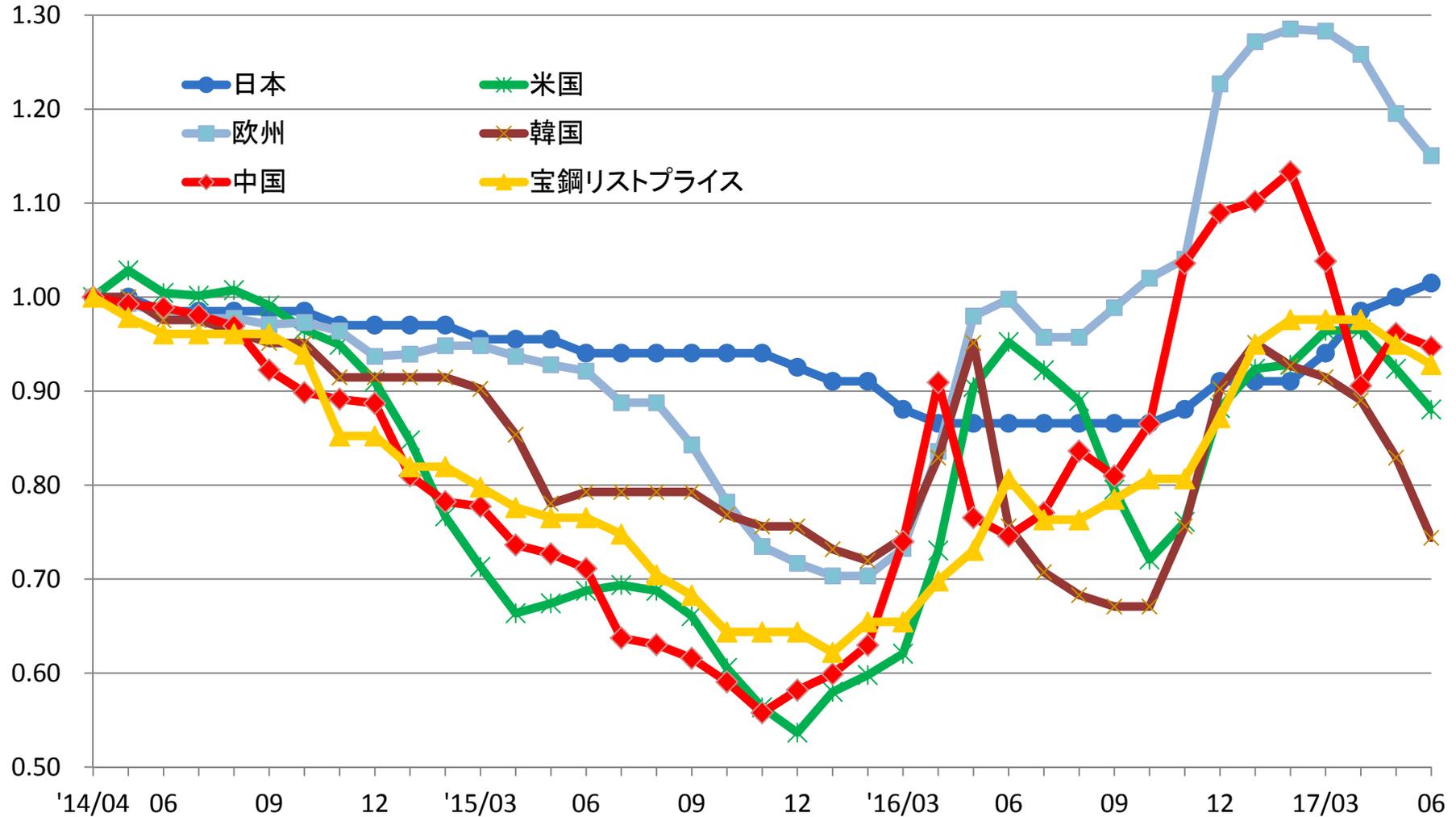


新日鐵住金

NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL

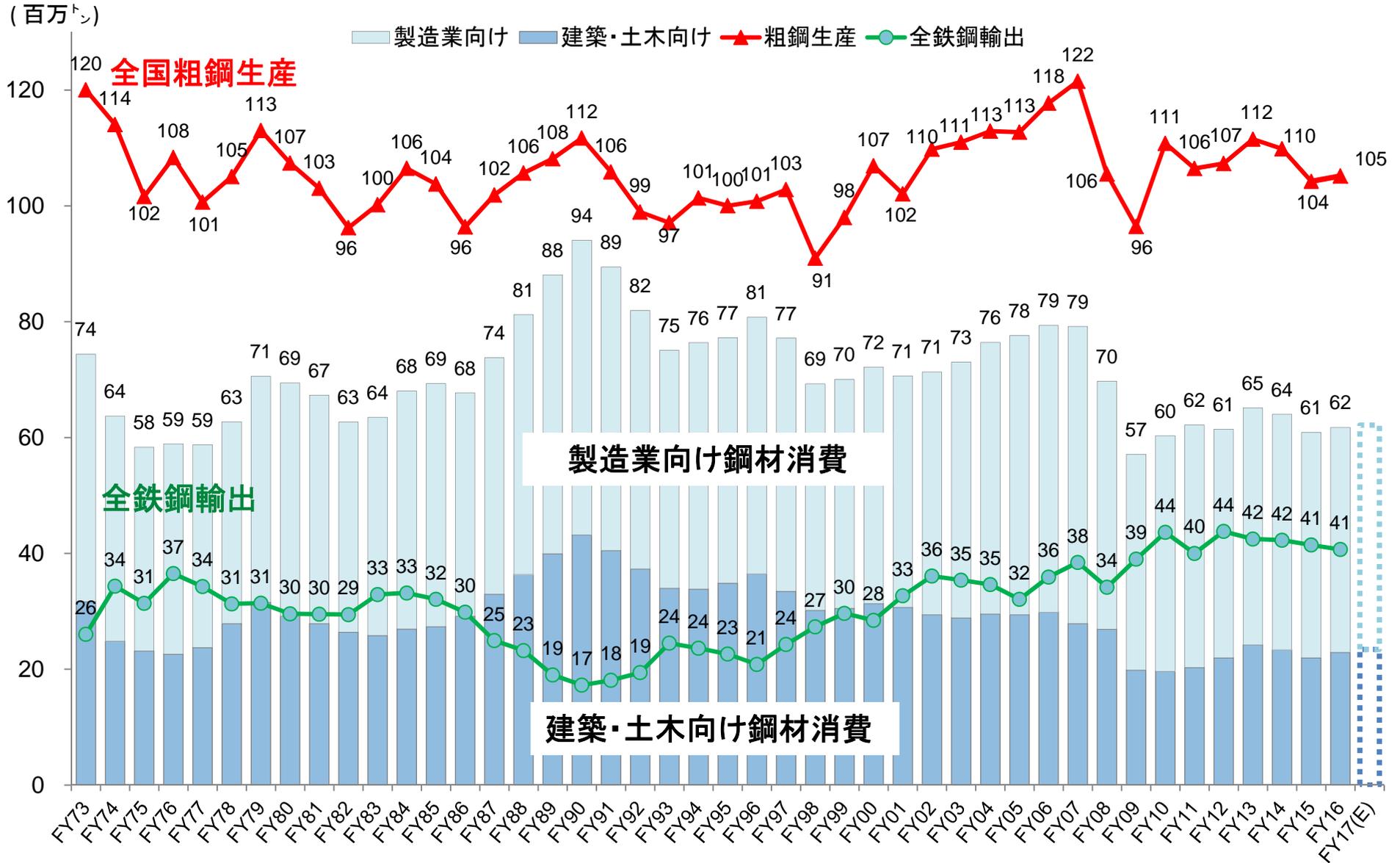
世界各国ホットコイル市況推移

(2014年4月各現地通貨ベースホットコイル価格=1.0)



(出所: 日本鉄鋼連盟等データより当社作成)

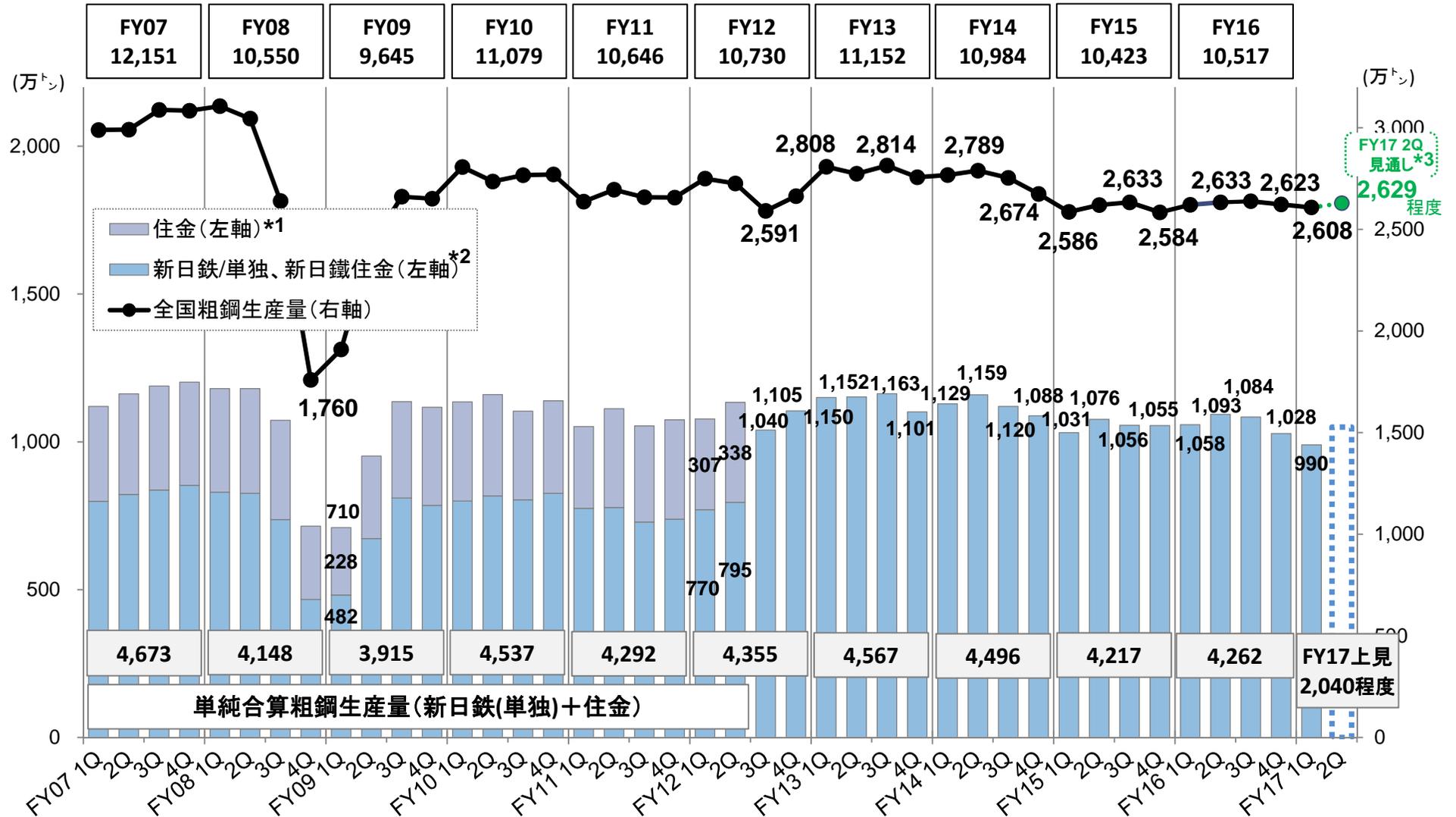
国内鋼材消費推移



(出所:各種統計資料・当社推定)

国内粗鋼生産量 四半期別推移

全国粗鋼生産量

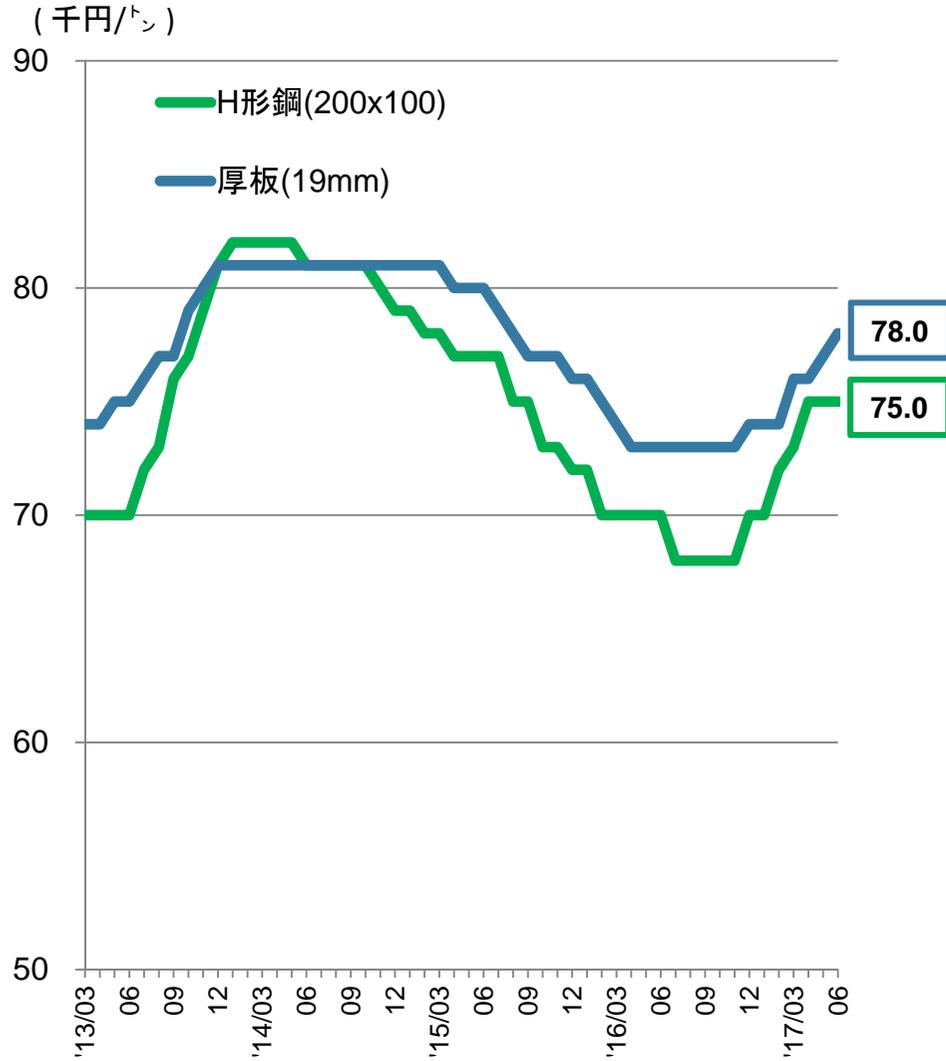


*1 住金: 旧住金小倉・住金直江津・住金鋼鉄和歌山含み

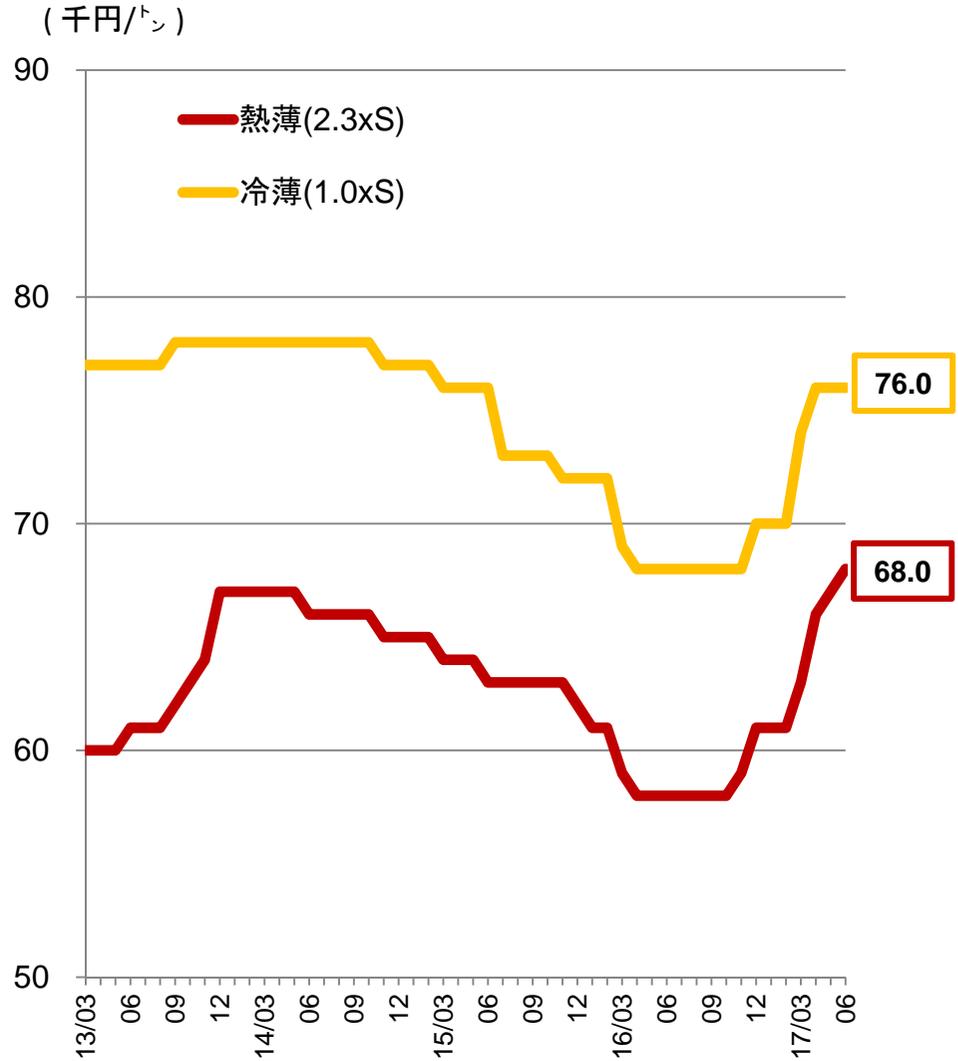
*2 新日鉄住金: 日鉄住金鋼鉄和歌山含み

国内鋼材市況（店頭価格）

厚板・H形鋼



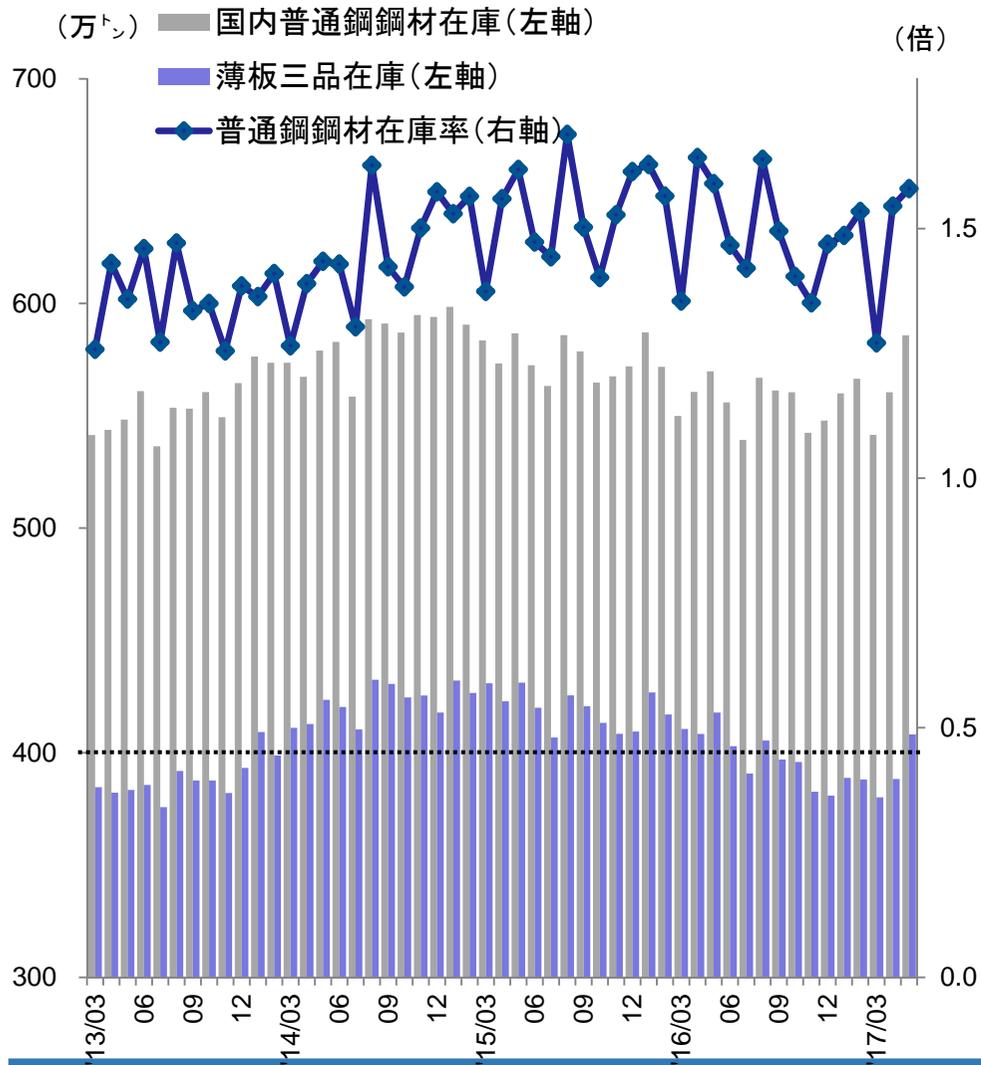
熱延・冷延



(出所: 鉄鋼新聞・月末・東京安値、問屋間仲間相場価格)

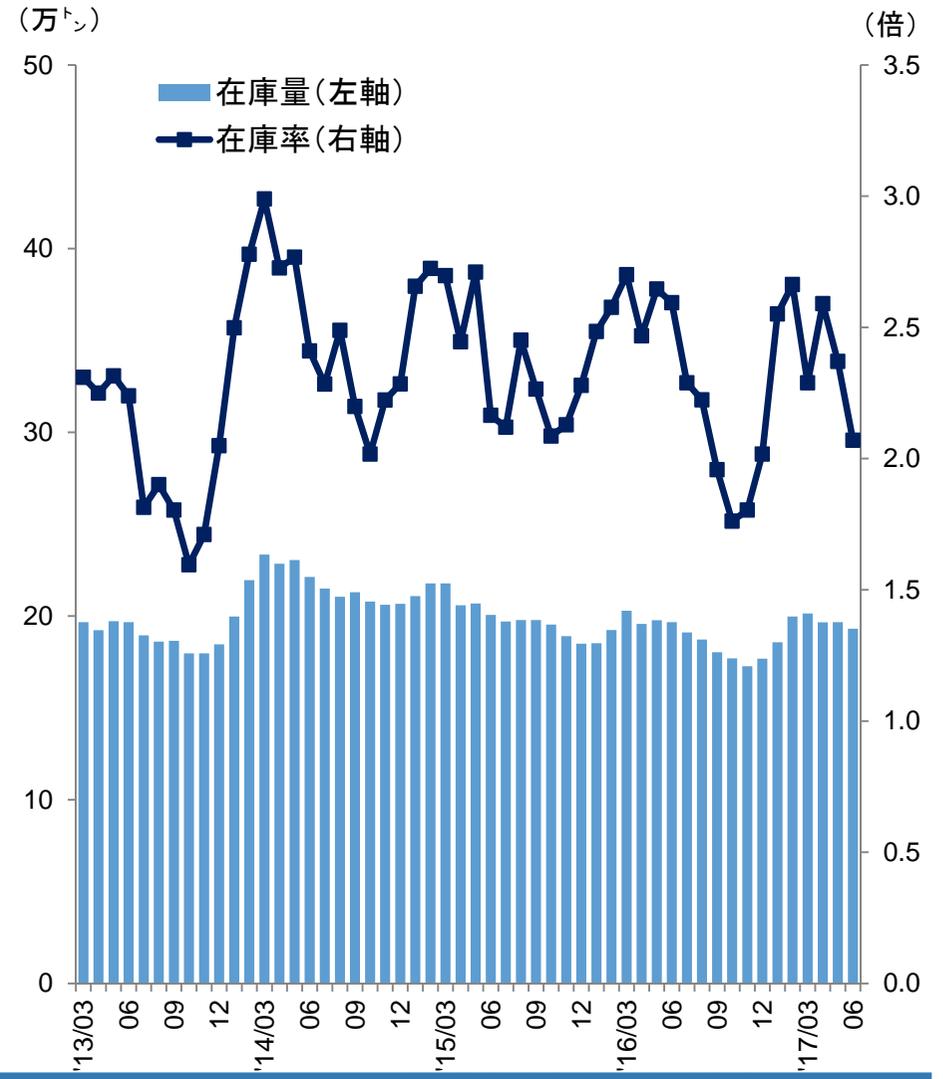
国内鋼材在庫推移

普通鋼鋼材・薄板三品在庫



(出所: 日本鉄鋼連盟)

ときわ会(H形鋼)在庫



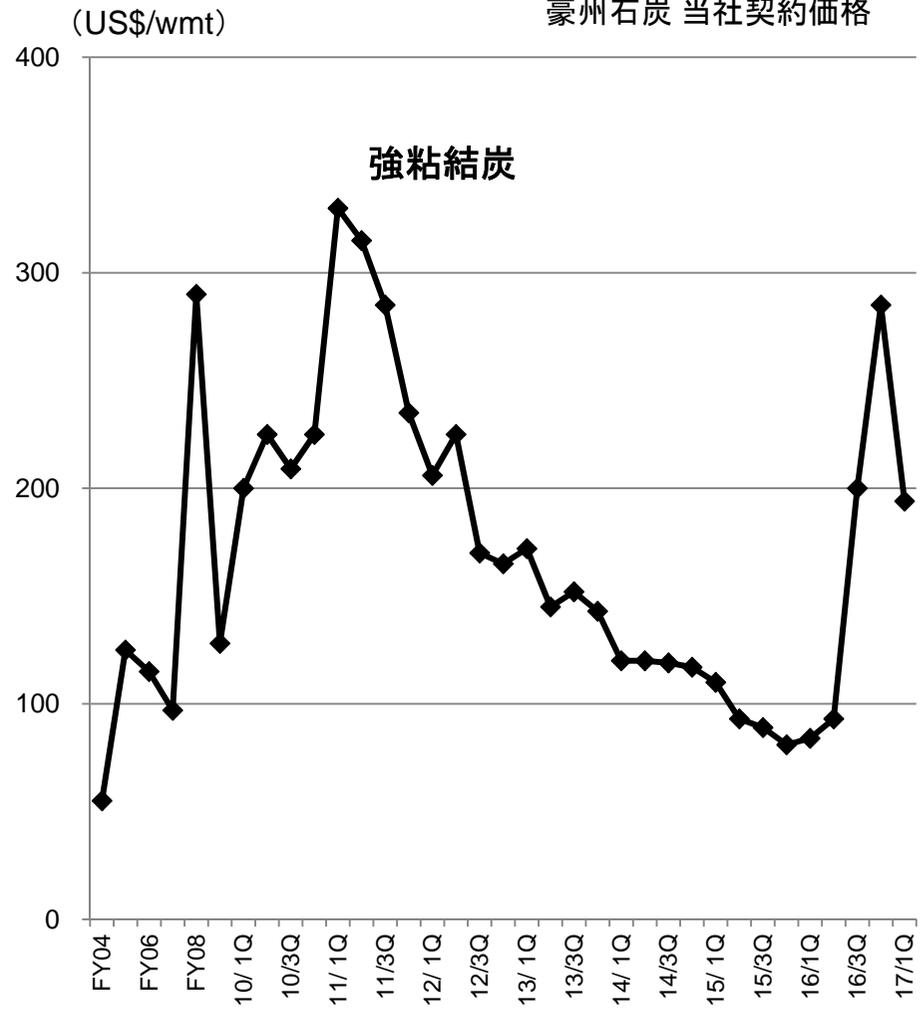
鉄鉱石

豪州鉄鉱石 当社契約価格



原料炭

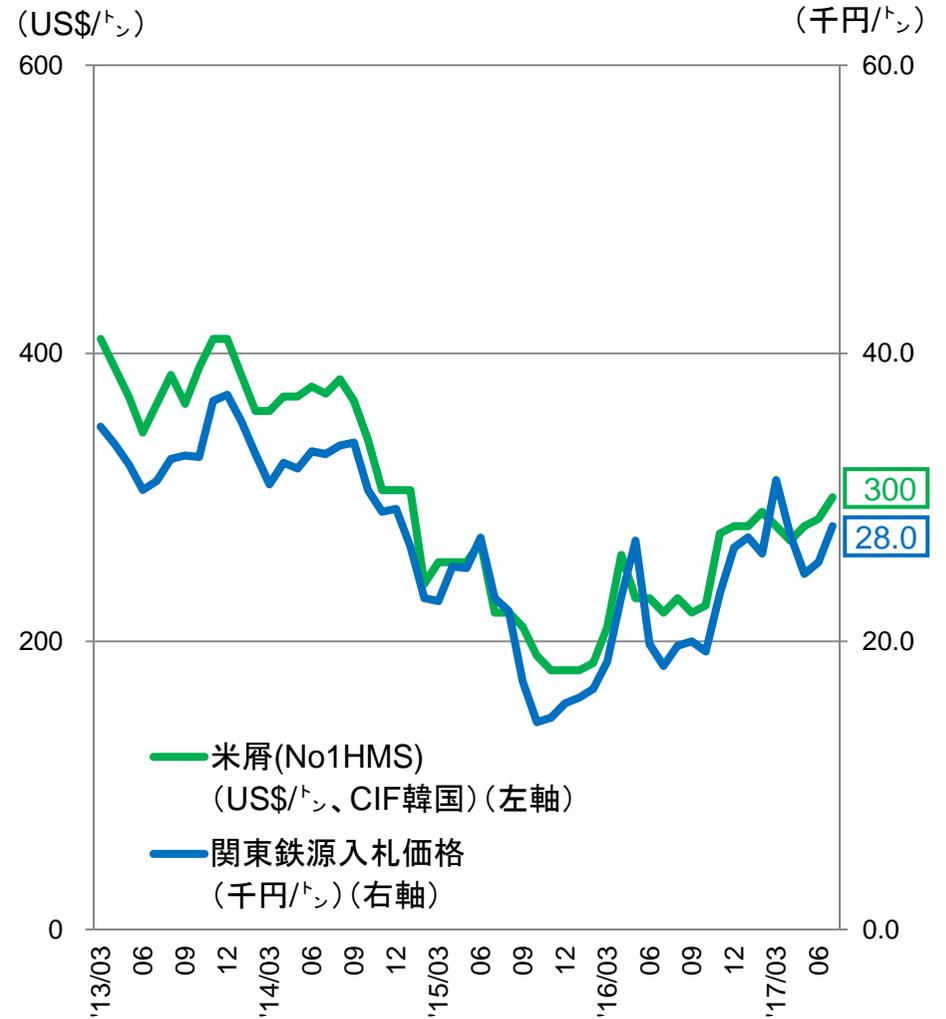
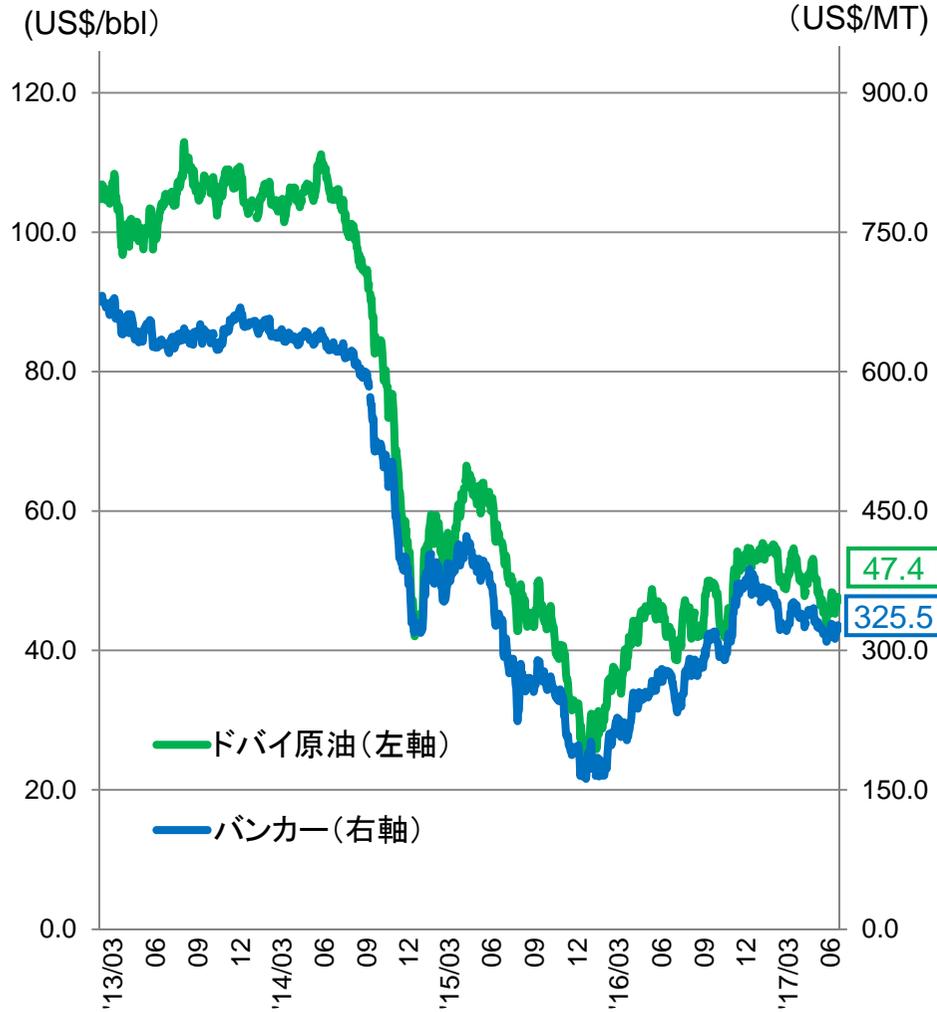
豪州石炭 当社契約価格



原料市況 <原油・スクラップ>

原油

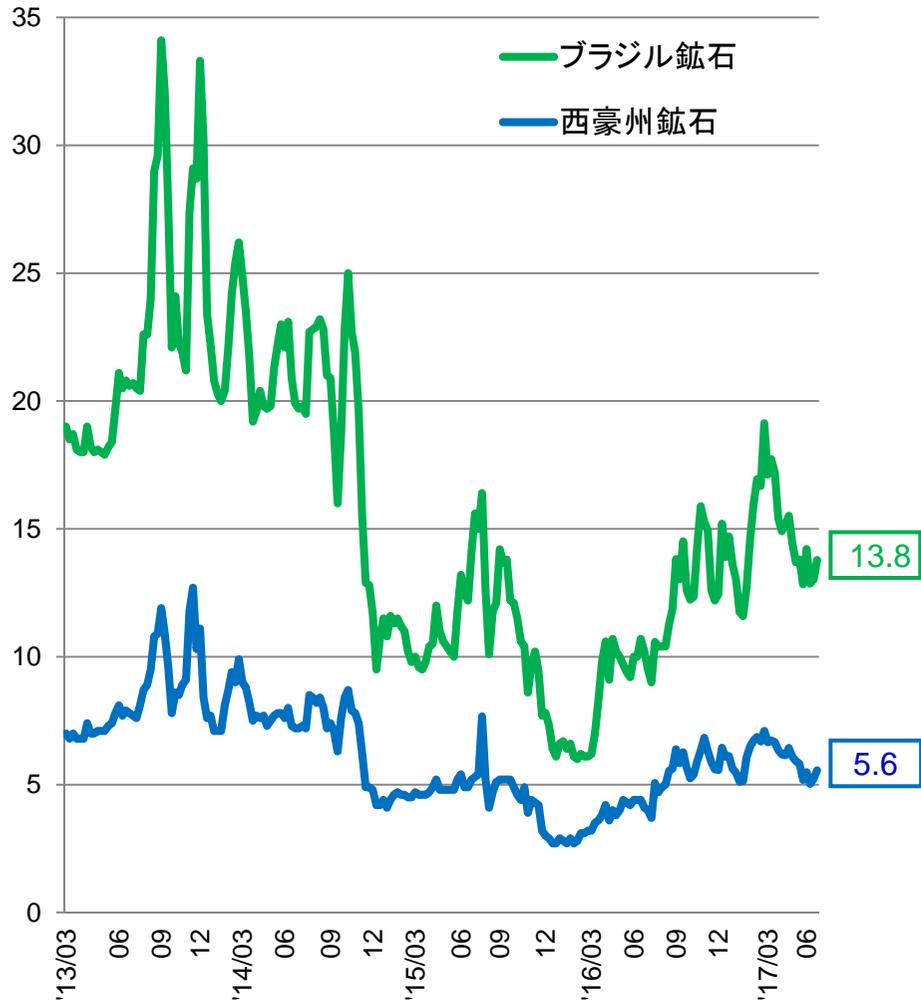
スクラップ



原料市況 <フレート・型鉄>

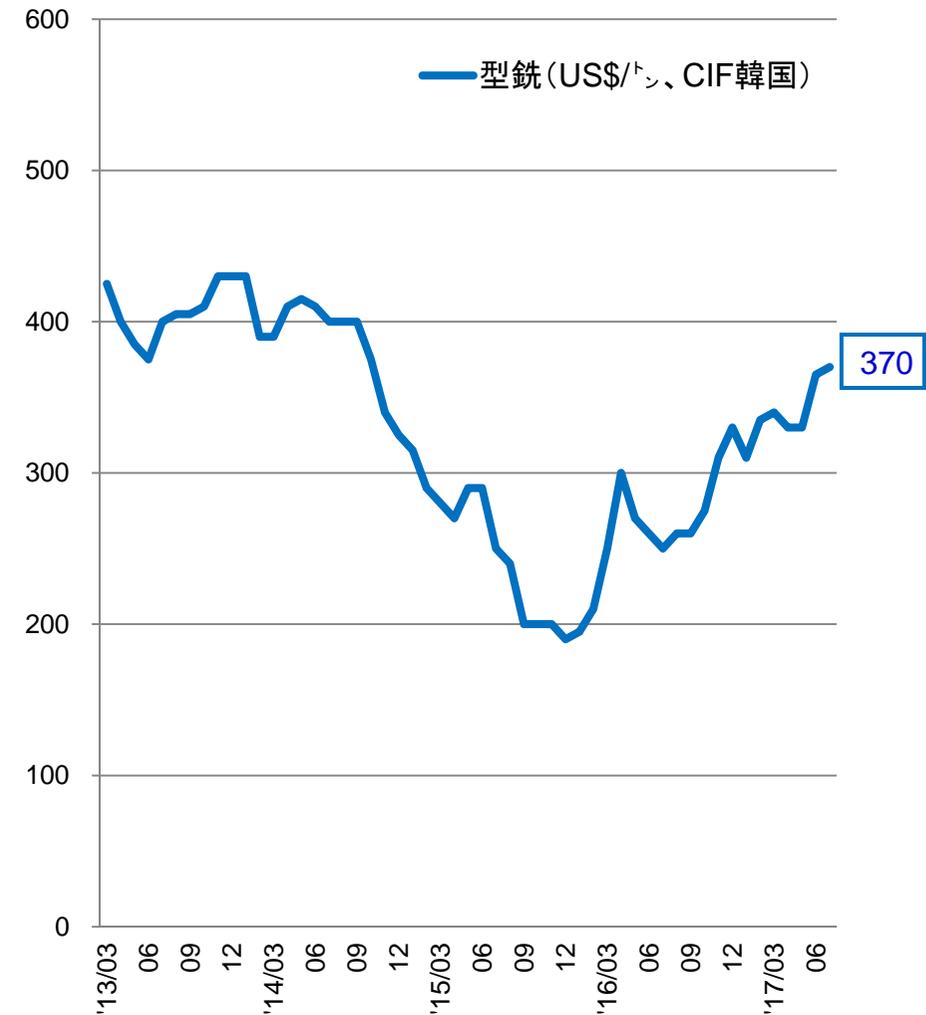
フレート

(US\$/WMT, ケープサイズ 170千t船型)



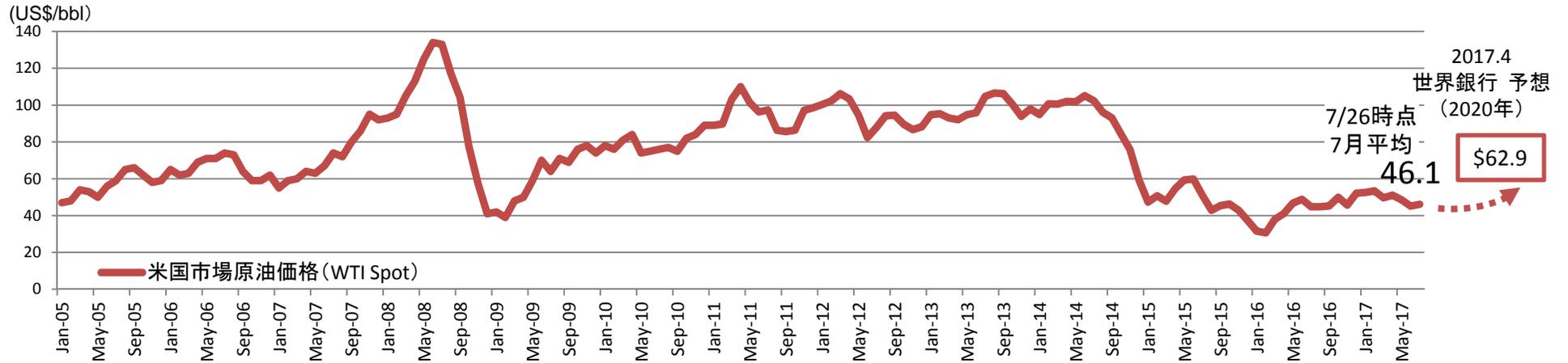
型鉄

(US\$/T, CIF 韓国)

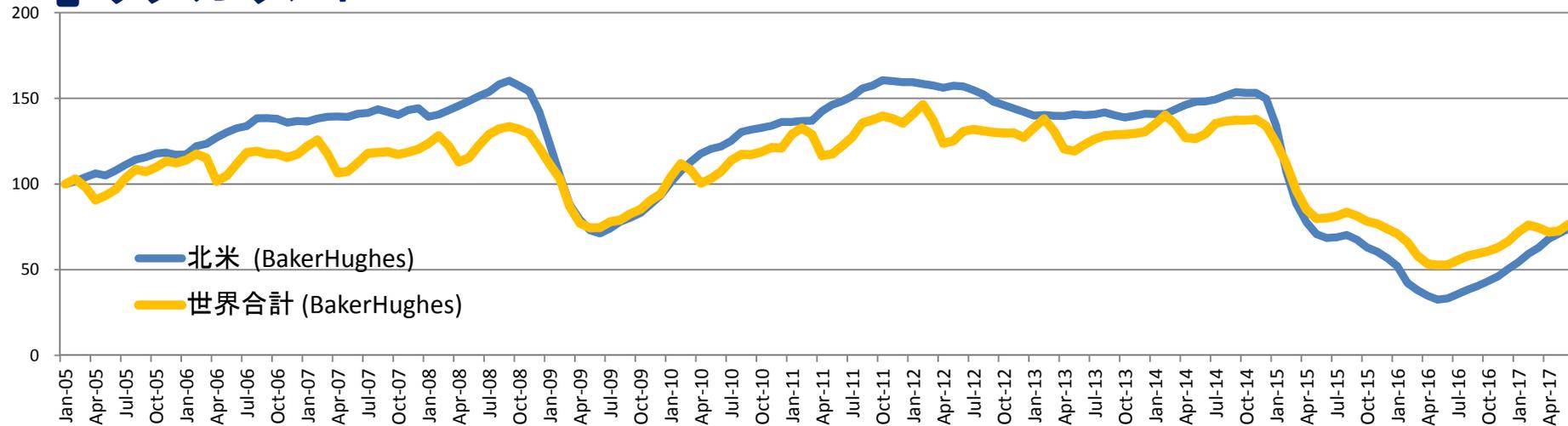


エネルギー関連指標の推移

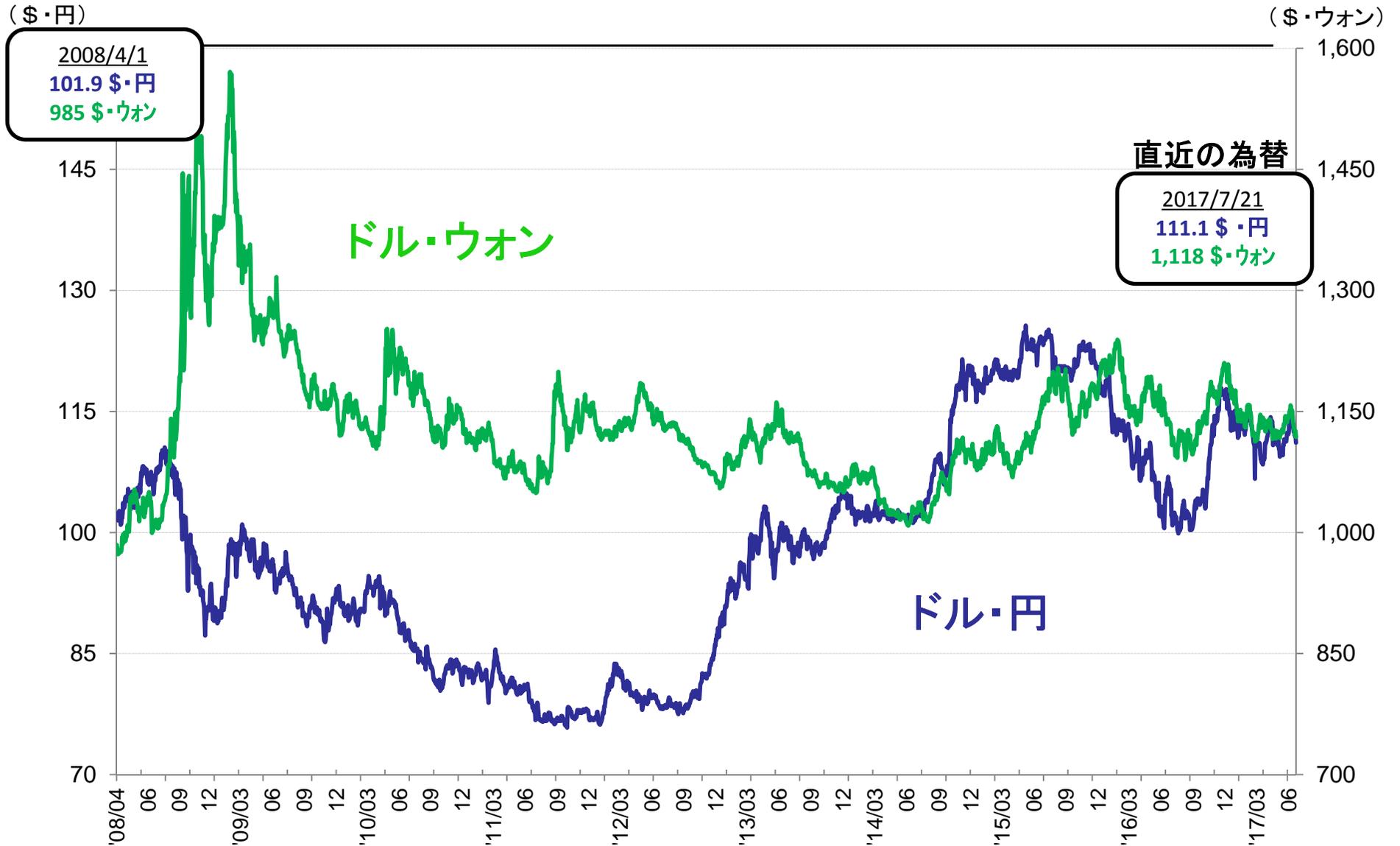
原油価格



リグカウント (2005年1月=100)



為替推移 (ドル・円, ドル・ウォン)



本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、説明会の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。